

同窓会報



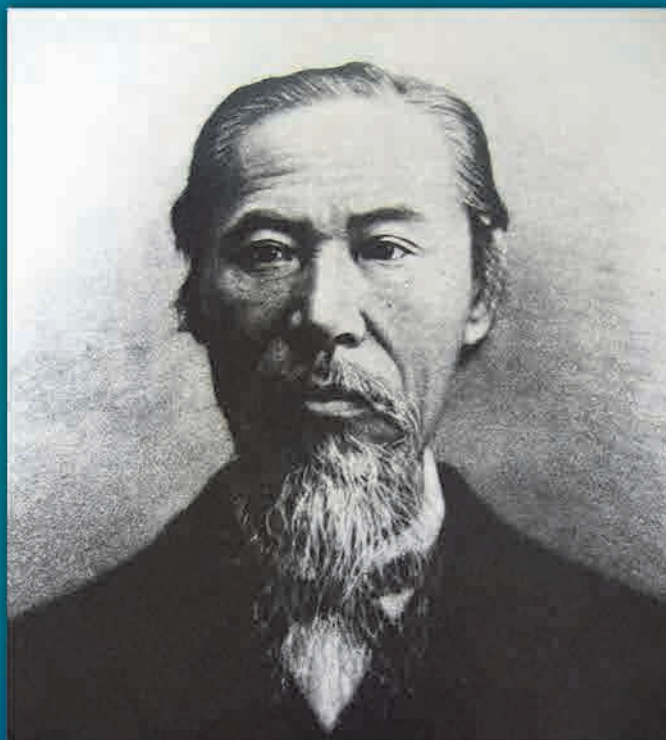
鳥羽商船同窓会

〒517-8501
三重県鳥羽市池上町1番1号
TEL (0599)25-8045
FAX (0599)25-8128
携帯電話 090-7612-2979
振替口座番号 00850-6-846

鳥羽商船学校創立者 近藤真琴物語

母校学生が
熱演!

「攻玉伝！」



平成29年7月9日 鳥羽市民文化会館で「かたらづか劇団」が公演。

◆ 目 次 ◆

| | | | |
|-----------------------|----|---------------------|----|
| 同窓会長就任のご挨拶 | 2 | 支部だより | 14 |
| 校長挨拶 | 3 | クラス会 | 17 |
| 平成28年度本部会務報告 | 4 | 会員の投稿 活動紹介 | 19 |
| 平成29年度本部会務報告・計画 | 4 | 学生からの投稿 | 21 |
| 平成28年度会計報告 | 5 | 事務局だより | 23 |
| 平成29年度予算 | 5 | 会員の移動等 | 24 |
| 平成29年度同窓会役員・理事 | 6 | 死亡者一覧 | 25 |
| 同窓会の活動 | 6 | 新入会員 | 25 |
| 平成29年度行事予定 | 9 | 住所変更 | 26 |
| 故郷の海を愛する会の活動 | 10 | 寄付金・同窓会費納入 一覧 | 27 |
| 学校だより | 12 | | |

同窓会長就任の ご挨拶

S48N(88期)
菅沼延之



本年6月の同窓会総会において、田中三郎(84期N)先輩の後を継ぎ会長に就任致しました菅沼です。名古屋在住、当年とって65歳、まだ現役で表面処理全般を生業にしております。

さて、私のご挨拶として40年に亘る略歴を申し述べさせていただきます。

私は、幼少時から亡き父に「視力が悪いと行きたい学校に行かなくなるぞ」とよく言われたものです。と申しますのも父は大正10年生まれ、旧制福井中学校(現福井県立藤島高等学校)卒業後、海軍兵学校に進学したかったのですが、視力が悪かった為希望叶わず陸軍士官学校に合格したものの結核を患って進学出来ませんでした。当時の同級生としてノーベル賞物理学賞を受賞された南部陽一郎さんを筆頭別格として、海兵・陸士に進んだ方々の大部分が戦死されておられ戦後父は暫く諦観的な人生を送っておりました。

そんな事もあり横になって読書をしたりテレビを見ていると眼が悪くなるほどひどく叱られたものでした。その当時はまさか自分が海上職に進むとは夢にも思っていませんでしたが、結果的に私は船乗り、2番目の弟は防衛大学校へ進学した事を考えると父の教育の在り方は振り返って見事であったと思います。

当時の父の会社は非常に景気がよかった為、何不自由なく悪く言えば我儘放題のお坊ちゃまでありましたが、ある日突然思う処がありこのまま人生を進めばとんでもない一生になると考え受験雑誌に掲載されていた母校の記事にきざりとなり進路を決めました。両親は「何も15歳から行かなくても」と大反対でありましたが初志貫徹致しました。

見事学科試験合格後、二次の適性試験受験の為母校へ行く前に父から「念の為に眼科へ行き検査をしてきなさい」と言われたので近くの眼科へ行き一通り検査を受けて臨みました。体力測定等全て順調に終えたが鬼門でもあった眼科検診で視力こそ裸眼で1.0以上ありましたが何と両目に疾患性トラホームがあると診断されいっぺんに奈落の底に落とされ半泣きで帰宅、結果は補欠合格となりました。一週間前に眼科でチェックした上での不合格であった為、それからは登校もせずいわゆる引きこもり状態を続けていた私を見兼ねてあれ程反対していた父が母校に出向き当時の小谷信市校長に面会し、「息子がどうしても行きたいと言っておりますので何とか入れてもらえないでしょうか」と談判、小谷先生が「そこ迄言われるのならば治療して頂ければ入校させます」と言って下さり直ちに名古屋大学付属病院眼科に出向き検査を受けました。一回目の診察では異常なし、親子食い下がって二回目をお願いした処確かに疾患がある事がわかりました。

その時の名大の先生が言った言葉を今でも鮮明に覚えています。「あった!これを見つけるとは大した先生だ」と。記憶

では伊勢の大原眼科の先生とっていますが、名大病院でもすぐに分からなかった疾患を見つけた名医が母校の眼科担当をされていたかと思うと今になって誇らしくも思っています。

人生には談判をする機会はあるとは思えませんが、父が小谷先生にしてくれた談判は終生忘れる事が出来ず親の在り方かくの如しと思っています。

そして無事に入校、在学中の事を書けば一冊の本になってしまいますのでここでは割愛しますが、入校に当たって母から父は何れ陸に上がり会社を継いでほしい希望があると聞かされておりましたので、在学中は陸上競技一筋でそれなりに母校の名誉を上げた分、勉強はさっぱりでしたが、4年生の時の担任であった矢島澄夫先生との三者面談で「これだけ運動してこの成績(11番)なら何も言う事はありません」と言われたのが幸いでした。

まだこの段階では卒業してからの同窓会活動は全く考えてもいませんでしたが、在学途中にて校長を辞められました小谷先生にはよく目をかけて頂きその御恩はずっと胸に強く刻み続けておりました。

そして、同窓会人生の分岐点がやってくる事になるのです。小谷先生が亡くなられた後も神戸に入港する都度、東灘区青木に住んでおられた淑子奥様を訪ね先生のお参りをしていたのですが、ある時小谷先生と父の50年前の談判の件を淑子奥様が話をされ自分では知る由もなかった当時の経緯を知る事になりました。

父は、小谷先生に「息子は在学中も学校の為に頑張ると思うが卒業してからも一層学校の為に尽力すると思います」と淑子奥様はご主人である小谷先生から聞いたとの事で、私はその内容を知り「そうか、あれ程反対していた父がこのような事迄言って私の入校したい願いを叶えさせようとしていたのか」と思い、かくなる上は来たるべき将来母校に帰ってご恩返しをしようと潜在意識に青雲の志を植え付けたのであります。

28歳で陸の河童になり、社業の充実を図り、50歳になってからは社会のお役に立つよう努め、56歳で15年の歳月を要しました各種繊維へのめっき技術開発業績により現代の名工を受賞、59歳で今上陛下から黄綬褒章拝受、裏芸では58歳で所属している居合道連盟会長殿下より範士称号授与され、現実に同窓会会長職が目の前に迫ってくるのを見据えて少し方便を用いて他の各団体役職を辞退し同窓会長職一筋で臨み卒業してから40年の歳月が経過した今、誠に小さな人生ではありますが人生の最終目標を達成した次第です。

勿論、会長職として私なりのビジョンは持ち合わせておりますが、最初の一年に当たりましては同窓会・母校・在校生の各立ち位置状況をよく理解した上で、2年目から副会長として藤本昌之(84期N)先輩、加塚伸吾(92期E)後輩、室博也(95期E)後輩、江崎修央(107期M)後輩、そして江崎隆夫(86期E)先輩が統括する事務局の面々と共に周りの方々がハッピー-&ハッピーの関係になるよう努め校祖近藤真琴先生140年の建学精神を尊び座右の銘である豊田佐吉公の「障子を開けてみよ、外は広いぞ」の信念で母校の発展と皆様のお役に立ちますよう微力ながら務めて参りますので、どうぞご支援ご協力下さいますようお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。

校長挨拶

林 祐司



○自己紹介

平成29年4月1日付けで鳥羽商船高等専門学校校長に着任いたしました。昭和53年9月神戸商船大学商船学部航海学科を卒業後、外航船社の航海士として8年4ヶ月勤務し、2年の大学院修士課程を経て、平成元年4月より母校教員(後に神戸大学)として29年間、研究と教育と大学運営に従事致しました。研究分野は水先制度と練習船活用を主として活動しました。教育は座学で航海学(地文航法、天文測位学、航海情報論)を担当し、附属練習船深江丸の船長も経験しました。大学運営では、海事科学研究科研究科長(海事科学部長)を2年間拝命いたしました。

これらの経験を生かして本校の円滑な運営と136年の学校の歴史の継承と伝達を果たそうとしています。高専と大学の相違点、独立行政法人国立高等専門学校機構内の1高専、商船学科・工業系学科の共存等々、特殊性と共通性が同舟した故の克服すべき問題がありますが、解決に向けて、周囲の状況を観察しつつ一歩一歩進むつもりです。

○学校運営

(1) これまで果たしてきた役割

ご存知のとおり、本校は明治14年に船舶職員養成を目的として創設され、以来136年の歴史を持っており、教育理念は一貫して【進取・礼譲・質実剛健】をうたっています。昭和42年に国立高等専門学校となりましたが、単に技術者としてだけでなく、人間的にも優れた人材育成を最重視しています。
 ・商船学科:日本最長クラスの136年に及ぶ外航船舶職員養成機関として、日本における海事人材の育成に努めてきました。
 ・電子機械工学科:自動車・電力・ロボット関連企業をはじめとする多種多様な企業に人材を供給しています。
 ・制御情報工学科:地元企業・研究機関と連携し、新しいシステムの開発(害獣対策、養殖、防災支援、教育支援など)を行い、地域に貢献してきました。

(2) 今後の展望

三重県では、生産年齢人口が減少し、若者の地元定着促進が大きな課題となっています。その解決方法として、三重県内では既存産業の活性化に向けた新たな戦略と航空・宇宙産業を中心とした新産業関連企業の誘致が進んでいます。本校は、人材供給の対象として「伊勢志摩地区の既存産業」、「三重県内の新産業関連企業」、「世界の海と船と新たな海洋産業」に人材を供給します。

本校は、今後の展望と課題の実現に向けて平成31年度目途で工業系学科改組を含む新展開事業計画を提案しています。その根幹となるカリキュラムは、

・柔軟な対応力を有する人材を育成するために、課題解決力や創造力につながる「論理的思考能力」をプログラミングとPBL(課題解決型学習)を使って早い時期から教育することです。具体には、低学年は学科横断型のカリキュラムで、入学後半年間の集中的プログラミング教育を通じて、「論理的思考能力」を育成し、ICT(情報通信技術)・IoT(モノの

インターネット)・AI(人工知能)技術や考え方を基礎力として身につけます。

・次に、将来軸足を置く、機械工学・電気電子工学・情報工学および海事海洋分野について、それぞれの応用分野を意識しつつ、自らがどのような技術者となるのかを見定め、個人の特性に合わせて多彩なカリキュラム(コース制)から、4年・5年次においては、主専攻・副専攻として複数コースを選択できるカリキュラムを構築します。

また、具体的な教育目標は、以下のとおりです。

- ① 第四次産業革命を促進するプログラマ育成と地域活性モデル人材育成の対象としては三重県伊勢志摩地域における産業の中心である第1次産業(農業・水産業)及び第3次産業(観光業)であり、ICT・IoT・AI技術を修得した卒業生が、既存産業に第四次産業革命を推進する起爆剤となります。
- ② 人材を空と地元へプロジェクト(副題エアロ・スペース・エンジニアの育成)

三重県が推進している国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成」の一環である三重県松阪市の航空・宇宙産業を中心とした新産業関連企業へ、同じくICT・IoT・AI技術を修得した卒業生を供給します。その企業活動の実現のためには、三重県内にある高等教育機関である本校が育成する人材が最適であると考えています。

③ 次世代の海事・海洋人材の育成

海事産業においては、同じくICT・IoT・AI技術を修得した卒業生を単に外航船舶職員のみならず、海洋開発・海洋観測を柱とした新海事産業を担う人材として育成します。日本三大港湾のうち、東京湾には東京海洋大学、大阪湾には神戸大学が存在しますが、伊勢三河湾には本校があり、他の二大港湾・大学と同等以上の人材育成の成果を挙げるべく努力を継続します。

以上のグローバル人材育成のために、情報教育と並行して徹底した使える英語教育(コミュニケーション力とプレゼンテーション力)を実施します。そのために外国人教員による実践英語教育を充実させます。また、外部英語試験(TOEIC・TOEFL・英語検定等)の成績を卒業必要単位に反映する予定です。

○同窓会との連携

前述の学校運営を実現するために、同窓会と連携する必要があります。その第一歩は、優秀な入学者の確保にあります。入口の人材を優秀な学生で固めることにより、構築する教育システムが有効に作用し、出口の人材の供給先も充実します。このサイクルを上手く回すことにより、10年先を目指して本校の地位が上昇するものと確信しています。優秀な受験生の確保のために、三重県外の同窓会組織を活用し、商船学科を主とする受験生確保活動の実施を御願いたします。各都道府県に5人程度の地元中学校キャンパバン隊を編成し、均質な本校関連情報提供のために、本校で用意した資料を持参して説明マニュアルにしたがって個人ごとにご説明を御願いたします。後は個人の熱意で説明を色付けしてください。実施詳細は、同窓会長と事務局長にご相談させていただきます。この受験生確保のキャンパバン隊の成否が、本校の浮沈を握る鍵となっていると云っても過言ではありません。末筆ではありますが、同窓会員の皆様に深甚より御願い申し上げる次第です。

本部報告

平成28年度本部会務報告

① 会議

- イ 理事会 平成28年6月5日10:00～11:30
東京外国人記者クラブ
☆出席理事36名（委任状含）
- ロ 総会 平成28年6月5日11:50～12:30
東京外国人記者クラブ
☆出席会員数82名。来賓7名
- ハ 支部長会 平成29年3月10日11:00～17:00
名古屋市 ユニモール桜ビル6階
主議題 予算方針について

② 会報発行

- 会報：平成28年10月15日、会員3,762名に発送
(うち195通あて先不明により返送)

③ 主要活動 平成28年4月1日～平成29年3月31日

- 04月14日 総会案内郵送準備作業
- 05月07日 攻玉社同窓会総会出席
- 05月12日 第46回戦没・殉職船員追悼式
- 06月05日 理事会、総会、懇親会 東京外国人記者クラブ
- 09月27日 商船学科卒業式
- 6月～7月 商船学科5校合同進学ガイダンス開催
東日本支部、関西支部会員の対応参加
会場：広島、横浜、神戸
- 06月30日 同窓会事務室の移動(学校内3F)
百周年記念館改修工事により事務室を
2号館3階に移動
- 08月16日～会報発行準備着手
- 09月25日 商船学科卒業式
- 10月15日 同窓会報発行 発送
- 10月27日 事務室の移動(百周年記念館1F)
- 10月29日 クラブ報奨金、課外活動支援金
授与式を開催
- 10月30日 海学祭 開催
- 03月10日 拡大支部長会議 名古屋市
ユニモール桜ビル6階
- 03月15日 M、I科卒業式で同窓会案内、加入活動

平成29年度本部会務報告・計画

① 会議

- イ 理事会 平成29年6月4日(日)名古屋
名鉄グランドホテル11階 ☆出席理事43名（委任状含）
- ロ 総会 平成29年6月4日(日)名古屋
名鉄グランドホテル11階 ☆出席会員数104名

理事会詳細は下記

理事会事項書

- 1.開会
- 2.会長挨拶
- 3.議案
 - ①平成28年度会務報告
 - ②平成28年度会計報告
 - ③平成28年度会計監査報告
 - ④次期役員改選
 - ⑤新会長挨拶
 - ⑥平成29年度行事予定（案）
 - ⑦平成29年度予算（案）
 - ⑧その他

(1)事務局連絡(2)支部報告(3)故郷の海を愛する会報告(4)次回開催地について
- 4.閉会

今年度は、名古屋駅前の名鉄グランドホテルに於いて開催されました。理事会は43名(委任状を含む)の出席のもと、各議案が審議され活発な意見が出された後、承認されました。今回は、役員の変更があり田中会長から菅沼会長に交代の議案が承認されました。議案の会務報告、会計報告、会計監査報告、行事計画予算等については、この会報の記事を参照ください。

② 会報発行

- 会報：平成29年10月初旬発行予定
(事務局、伊勢志摩支部会員の協力による発送作業)

③ 今後の主要活動

- ・09月 商船学科卒業祝賀会の開催及び、同窓会
入会説明並びに入会手続き。
- ・10月 同窓会会報発行。
(事務局、伊勢志摩支部会員による)
- ・10月 海学祭協賛、同窓会の出店。
- ・10月 学生支援奨励金の授与。
- ・12月 本校S科、M科、I科施設見学と講演会。
(故郷の海を愛する会主催)
同窓会名簿更新に関する諸作業。

平成28年度会計報告

自 平成28年4月01日～至 平成29年3月31日

会計報告は、平成29年6月4日 名古屋名鉄グランドホテルに於いて開催の理事会、総会で承認されました。

[現金・預金]

※比較増減=期末-期首

| 勘定科目 | 期首金額 | 収入 | 支出 | 期末金額 | 比較増減 |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 現金 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | -10,000 |
| 普通預金合計 | 2,321,399 | 12,554,267 | 13,487,885 | 1,387,781 | -933,618 |
| 定期預金合計 | 23,451,718 | 4,725 | 1,149,458 | 22,306,985 | -1,144,733 |
| 現金・預金合計 | 25,783,117 | 12,558,992 | 14,647,343 | 23,694,766 | -2,088,351 |

※約209万円の預金取り崩しとなりました。

収入の部

※比較増減=決算金額-予算

| 科目 | 28年度予算 | 決算金額 | 比較増減 |
|---------|-----------|-----------|------------|
| 会費 | 3,550,000 | 2,780,100 | -769,900 |
| 寄付金収入 | 900,000 | 706,100 | -193,900 |
| バナー広告収入 | 240,000 | 180,000 | -60,000 |
| 雑収入 | 1,080,000 | 876,600 | -203,400 |
| 受取利息 | 5,810 | 4,734 | -1,076 |
| 預かり金 | 0 | 2,000 | 2,000 |
| 収入合計 | 5,775,810 | 4,549,534 | -1,226,276 |

支出の部

| 科目 | 28年度予算 | 決算金額 | 比較増減 |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 負担金 | 550,000 | 635,561 | 85,561 |
| 総会費 | 1,710,000 | 1,380,942 | -329,058 |
| 会報・会員名簿 | 860,000 | 854,833 | -5,167 |
| 対外活動費 | 271,000 | 274,648 | 3,648 |
| 支部活動費 | 700,000 | 700,000 | 0 |
| 慶弔費 | 30,000 | 0 | -30,000 |
| 旅費交通費 | 627,000 | 836,648 | 209,648 |
| 事務消耗品費 | 285,000 | 275,145 | -9,855 |
| 会議費 | 40,000 | 60,400 | 20,400 |
| 会務運営費 | 292,000 | 309,890 | 17,890 |
| 外部委託費 | 600,000 | 600,000 | 0 |
| 特別予算 | 650,000 | 196,560 | -453,440 |
| 特別予算 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 雑支出 | 10,000 | 13,258 | 3,258 |
| 支出合計 | 7,125,000 | 6,637,885 | -487,115 |

会計監査報告

平成28年度期初、期末の銀行等の残高証明の確認を行い、今年度収支に関しては領収書、各銀行などの出納記録と照合して監査した結果、正確かつ適正であったことを認めます。

平成 29 年 5 月 20 日

会計監査 松浦 肇
 会計監査 武部 二三男



平成29年度予算

自 平成29年4月1日～至 平成30年3月31日

この会計表は、従来の複式簿記の書式を簡略するために作成しました。入金出金（収入支出）の観点で作成しています。

[現金・預金]

※期末残額=期首+収入-支出

| 勘定科目 | 期首金額 | 予算収入 | 予算支出 | 期末残額 |
|---------|------------|-----------|-----------|------------|
| 現金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 普通預金計 | 1,387,781 | 5,451,020 | 5,426,800 | 1,412,001 |
| 定期預金計 | 22,306,985 | 4,680 | 0 | 22,311,665 |
| 現金・預金合計 | 23,694,766 | 5,455,700 | 5,426,800 | 23,723,666 |
| | | | 取崩予定額 | -28,900 |

収入の部

※増減比較=29年度予算-実績

| 科目・内訳 | 28年度収入実績 | 29年度予算 | 増減比較 |
|-------|-----------|-----------|---------|
| 会費 | 2,780,100 | 3,180,000 | 399,900 |
| 寄付金収入 | 706,100 | 700,000 | -6,100 |
| 広告収入 | 180,000 | 240,000 | 60,000 |
| 雑収入 | 876,600 | 1,331,000 | 454,400 |
| 受取利息 | 4,734 | 4,700 | -34 |
| 預かり金 | 2,000 | 0 | -2,000 |
| 収入合計 | 4,549,534 | 5,455,700 | 906,166 |

支出の部

※増減比較=29年度予算-実績

| 科目 | 28年度支出実績 | 29年度予算 | 増減比較 |
|----------------|-----------|-----------|------------|
| 負担金 | 635,561 | 520,000 | -115,561 |
| 総会費 | 1,380,942 | 1,425,800 | 44,858 |
| 会報・会員名簿 | 854,833 | 835,000 | -19,833 |
| 対外活動費 | 274,648 | 217,000 | -57,648 |
| 支部活動費 | 700,000 | 492,000 | -208,000 |
| 慶弔費 | 0 | 30,000 | 30,000 |
| 旅費交通費 | 836,648 | 400,000 | -436,648 |
| 事務消耗品費 | 275,145 | 30,000 | -245,145 |
| 会議費 | 60,400 | 30,000 | -30,400 |
| 会務運営費 | 309,890 | 277,000 | -32,890 |
| 外部委託費 | 600,000 | 650,000 | 50,000 |
| 特別予算(本校紹介活動) | 196,560 | 300,000 | 103,440 |
| 特別予算(ロボコン東海大会) | 500,000 | 200,000 | -300,000 |
| 雑支出 | 13,258 | 20,000 | -6,742 |
| 支出合計 | 6,637,885 | 5,426,800 | -1,211,085 |

★予算は赤字予算とならないことを前提に作成しました。

★年々会費の収入が減少している傾向に有ります。

★このため負担金、対外活動費、支部活動費、旅費交通費等幾つかの科目の予算を減額しました。

★30年度予算に次年度発行予定会員名簿の広告料前受け金60万円を雑収入に参入しました。

同窓会会費納入のお願い

円滑な同窓会運営にご協力ください。
 滞納の方は分割にてお取扱い致します。



伊勢三河湾水先区水先人会

〒475-0831 半田市十一号地1番5
TEL/0569-21-7487(代)

鳥羽商船同窓会一同

大西 彰夫(S36・78期) 中島 章(S37・79期) 小久保 又五郎(S38・80期)
 家田 和良(S39・81期) 池上 義孝(S40・82期) 井上 道彦(S40・82期)
 佐野 司朗(S41・83期) 成田 寛太郎(S41・83期) 坂田 安吉(S42・84期)

平成29年度 同窓会役員・理事

本部

| | | | | | |
|-------------|---|------------|------|---|------------|
| 会長 | 1 | 菅沼 延之 S48N | 事務局長 | 1 | 江崎 隆夫 S44E |
| 副会長 (3) | 4 | 藤本 昌之 S42N | 事務局 | 8 | 溝井 昇 S42E |
| | | 加塚 信吾 S52E | | | 三井 健次 S43E |
| | | 室 博也 S55N | | | 江尻 潜 S48E |
| | | 江崎 修央 H4M | | | 山口 伸輔 S48N |
| 相談役 (6) | 5 | 古川 昭一 S30E | | | 木下 勝 S49E |
| | | 桑嶋 収平 S31N | | | 西山 明 S50E |
| | | 菅原 昌男 S33N | | | 畑 辰幸 S51N |
| | | 松浦 肇 S36N | | | 北端 大志 H8N |
| | | 中澤 昌信 S37N | 学校連絡 | 1 | 小島 智恵 H14N |
| 会計監査 (2) | 2 | 武部二三男 S38N | | | |
| | | 竹川 俊幸 S42N | | | |

| | | |
|-------------|---|-------------|
| 名誉顧問 (2) | 3 | 落合 弘明 元同窓会長 |
| | | 菱田 司 元同窓会長 |
| | | 田中 三郎 前同窓会長 |
| 特別顧問 (3) | 3 | 林 祐司 学校長 |
| | | 石田 邦光 副校長 |
| | | 菅野 敬也 事務部長 |

※ は新任
※ ()内は定数

支部

| | | | |
|---------------|------------|----------------|------------|
| 東日本支部 11 (11) | | 伊勢志摩支部 14 (14) | |
| 支部長 | 水野 正治 S43N | 支部長 | 三井 健次 S43E |
| 理事 | 岩田 仁 S38E | 理事 | 大西 彰夫 S36N |
| | 田中 三郎 S42N | | 川口 心也 S40E |
| | 富岡栄一郎 S48N | | 溝井 昇 S42E |
| | 大橋 泰夫 S48N | | 江崎 隆夫 S44E |
| | 奥田 宣夫 S48E | | 山口 伸輔 S48N |
| | 水野 博之 S48N | | 木下 勝 S49E |
| | 大橋 秀章 S49N | | 西山 明 S50E |
| | 菅原 秀樹 S51N | | 畑 辰幸 S51N |
| | 星野 芳昭 S52E | | 塩野 明俊 S56E |
| | 真治 正章 H8N | | 齋心 俊憲 H1N |
| 中部支部 6 (6) | | 関西支部 7 (7) | |
| 支部長 | 山川 博之 S53N | 支部長 | 田中 潔 S52N |
| 理事 | 小林 正司 S43N | 理事 | 藤本 昌之 S42N |
| | 宗接万太郎 S48N | | 岡崎 和清 S48E |
| | 菅沼 延之 S48N | | 村田 佳久 S55N |
| | 加塚 伸吾 S52E | | 国安 政幸 S58N |
| | 山口 淳 S61N | | 清家 将之 S60N |
| 四日市支部 5 (5) | | 西日本支部 2 (2) | |
| 支部長 | 西井 育央 S61E | 支部長 | 中野 正義 S41N |
| 理事 | 室 博也 S55N | 理事 | 神子 功 S48E |
| | 待井 健司 H2N | | |
| | 伊藤 英樹 H4N | | |
| | 西村 崇 H6I | | |

同窓会の活動

平成28年9月25日(日) 商船科卒業式挙行

航海コース19名、機関コース17名、専攻科2名学生の進路は外航船社7名、内航船社17名、官公庁2名、陸上企業5名でした。同窓会は、田中会長が祝辞を述べました。



事務局は同窓会への入会の説明、手続きを行い、卒業祝賀会を例年通り開催しました。卒業式後の謝恩パーティでは卒業生、卒業生ご父兄、教職員の皆様、そして同窓会の諸兄の方たちを交え和やかな団欒の輪ができ、最後は三井伊勢志摩支部長の万歳三唱で締めくくりました。



10月8日9日に鳥羽商船高専が主管校として全国高専第27回プログラミングコンテストが開催。

同窓会は、母校に50万円の支援金を提供した。自由部門において、本校は最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞し、また、トヨタコミュニケーションシステム企業賞、東芝ITソリューション企業賞を受賞した。(詳しくは学校だより参照)



平成28年10月15日(土) 同窓会報発送

伊勢志摩支部と事務局10名で約3700名に会報を発送した。



伊勢三河湾水先区水先人会

〒475-0831 半田市十一号地1番5
TEL/0569-21-7487(代)

鳥羽商船同窓会一同

横山 良一(S43・85期) 小甲 和己(S43・85期) 小林 司(S43・85期)
大野 義和(S44・86期) 池山 薫(S47・87期) 伊庭野 紀弘(S47・87期)
中村 道夫(S47・87期) 岩本 正直(S49・89期) 大濱 輝久(S49・89期)

平成28年10月26日(水) 事務室復旧

伊勢志摩支部、事務局7名(漆山・金田・川口・三井・江崎・西山・石原)で100周年記念館1階に戻しました。



平成28年10月29日(土)

海学祭開催とH28年度課外活動支援金授与式

課外活動支援金授与式を開催しました。三井伊勢志摩支部長より報奨金4件90,000円、課外活動支援金6件200,000円並びに海学祭実行委員会へ50,000円の助成金が在校生へ授与されました。



海学祭では伊勢志摩支部も長老庵(ぜんざい)中村コーヒー店を出店し売り上げを同窓会に寄付いたしました。同窓の皆さん今年もご来店お待ちしております。



平成29年3月11日(日) 工業系卒業式挙行される

電子機械工学科38名、制御情報工学科41名、専攻科生産システム工学科10名が卒業しました。進路は全員が決まり就職100パーセント。進学は専攻科11名。大学進学4名です。



田中同窓会会長の暖かい励ましの祝辞に送られました。事務局、伊勢志摩支部会員で、同窓会の入会説明会並びに入会手続き、卒業祝賀会を行いました。

平成29年4月18日(火) 総会案内発送作業

伊勢志摩支部の会員が同窓会事務室に集まり、肩をふりつつ3,600通の総会案内の発送作業を行いました。肩ふりは、若かりし青春



時代、血気盛んな船乗りさんの頃の遠い昔話から最近の世界情勢やら、井戸端話まで、口も手もよく働かせての5時間で作業完了。『上がり』となりました。本日の作業参加者13名(敬称略)S36N大西、S38N武部、S43E三井、村田、S44E江崎、S47E濱地、S48N山口氏奥様、S49E木下、S50E西山、S51N畑、事務局委託者石原、H16I糸川

平成29年4月28日(金) 新学校長を表敬訪問

江崎事務局長他5名が、第23代学校長に就任されました林 祐司氏を表敬訪問しました。

同窓会は母校の発展を願うとともに同窓会員の親睦を図ることを目的に活動しており、その内容を知っていただくために同窓会会報をお渡しました。また会員有志がNPO法人「故郷の海を愛する会」を立ち上げて活動していることも説明しました。そして同窓会、「故郷の海を愛する会」へのご理解とご協力をお願い致しました。学校長からも同窓会に母校への協力の依頼をされ、面談を終えました。

今回の表敬訪問者は、江崎隆夫事務局長(S44E)、三井健次伊勢志摩支部長(S43E)、大西彰生氏(S36N)、西山明事務局会計(S50E)、畑辰幸氏(S51N)、糸川友希氏(H16I)、の6名でした。

平成29年6月4日 平成29年度同窓会総会が開催

名古屋駅前名鉄グランドホテル11階で総勢104名の同窓生と母校から林校長、石田副校長、菅野事務部長そして、兄弟校東京の攻玉社学園から木村同窓会長、田村事務局長、全船協岩田会長の参加を得て盛大に開催されました。



今年は、役員の改選期にあたり、総会前の理事会に於いて田中三郎会長(S42N)が勇退を表明され田中会長の推薦により、新会長に菅沼延之副会長(S48N)が推挙され満場一致で選出承認されました。又、新会長の推薦により、副会長、事務局長、会計監査、会計が選出承認、各支部理事、事業計画、会計決算、予算案が承認されました。菅沼新会長は高専2期生で、初の高専卒の会長です。



伊勢三河湾水先区水先人会

〒475-0831 半田市十一号地1番5
TEL/0569-21-7487(代)

鳥羽商船同窓会一同

田中 敏彦(S50・90期) 鶴飼 幹夫(S52・92期) 畑内 康孝(S52・92期)
町 祐次(S52・92期) 森内 芳卓(S53・93期) 鈴木 晴敏(S54・94期)
西濱 卓己(S54・94期) 増島 忠弘(S54・94期) 門奈 克明(S62・102期)

本部、支部ともに理事の皆様が大幅に若返りました。菅沼新会長が挨拶で発せられた言葉、「私達が寮で叩き込まれた生徒規箴の【至誠一貫】、【卒先敢闘】、【和親一致】、【責任完遂】、そして船乗りのモットー『船乗りはスマートで目先が効いて几帳面、負けじ魂、これぞ船乗り』」この言葉を支えに同窓会の皆様と一緒に歩みましょうという言葉で締めくくられました。総会の後、懇親会が催され、数十年ぶりの再会の場も各所で



見られ、若き日の思い出話に花が咲き、最後は恒例の母校歌がほぼ全員参加で斉唱されました。懇親会の最後に田中関西支部長より、次回開催は関西で6月第一日曜日に決定された事を報告されました。

そして、田中関西支部長の音頭で万歳三唱で来年の再会を約束し終わりました。

平成29年7月9日(日)

鳥羽市民文化会館大ホールにて「攻玉伝」上演

当日は好天に恵まれましたが市内各地で天王祭と重なり、満席には少し足りませんでした。500名弱の観客に観ていただきました。中村鳥羽市長、野村県議、鳥羽市議会議員の皆様、そして母校から林校長はじめ教職員の方々、母校奨学後援会の役員、そして東京から攻玉社学園同窓会の木村さんと森さん、中学校教頭の内海さん達にも見に来ていただきました。

4月から週2回の練習を重ね当日の公演を迎えました。最初の練習からずっと見学してきた私は演技の上手下手はさておき一生懸命さに心打たれて当日を迎えました。

上演当日、筆者は舞台裏で観客席の笑いと拍手、そして涙を誘う劇の進行に注力しながら幕係を担当していました。フィナーレの舞台上で大きな拍手に包まれた出演者たちは感激と達成感に浸ったのか皆泣いていました。この経験は一生忘れられない思い出になったと思います。

公演終了後観客の皆様から多くの賞賛の言葉をいただきました。たぶん義理で初めて芝居を見に来てくれた友達も予想外の感動だったのか涙目で褒めてもらいました。

母校関係者にも母校の講堂で学生と関係者全員に見せてあげたいとまで言っていただけました。

多くの鳥羽市民も鳥羽の偉人に明治6大教育家の一人と



数えられる近藤真琴翁が鳥羽商船学校を創ったことを初めて知り、鳥羽の誇りを改めて認識していただいたのではないかと考えています。



出演者に母校寮生から2年生4人の女子、4年生女子2人、コーラスに男女学生10人、映像班に制御情報科5人の後輩の頑張りもあってこの劇が大成功に終わったと思います。鳥羽商船同窓会からの多額のご支援ありがとうございました。かたらずか劇団の東谷団長はじめ多くの皆様、S56Eの塩野さん素晴らしい脚本ありがとうございました。DVDも今月中にはできあがると思います。

事務局 江崎隆夫

鳥羽商船同窓会ホームページ

会員の投稿記事募集中!

もっともっと盛り上げたいので、クラス会報告、会員の投稿、各支部からの報告をどしどしお寄せ下さい。



鳥羽商船同窓会 検索



東京湾水先区水先人会

〒231-0023 横浜市中区山下町1番2パイロットビル
TEL/045-650-3180

鳥羽商船同窓会一同

坂崎 清 (S40・82期) 中川 敏 (S40・82期) 三村 徳蔵 (S40・82期)
飯野 実 (S44・86期) 石川 富朗 (S47・87期) 高木 春男 (S49・89期)
藤本 良夫 (S51・91期) 木場 弘幸 (S53・93期)

平成29年度行事予定（一部実施済）

| 月 日 | 曜日 | 行事内容 | 関係者 | 備考 |
|--------|----|--------------------------|---------------|-------------|
| 4月3日 | 月 | 入学式（本科S,M,I, 専攻科生） | | |
| 5月6日 | 土 | 戦没・殉職船員追悼式 | 東日本支部 | |
| 5月13日 | 土 | 攻玉社同窓会総会 出席 | 会長、東日本支部長 | |
| 6月4日 | 日 | 理事会・総会・懇親会 | 主管支部役員、全会員 | 会長、副会長、会計監査 |
| 6月10日 | 土 | 国立高専 商船学科 5校合同進学ガイダンス | 神戸：西日本支部、関西支部 | 日本船主協会主催 |
| 6月25日 | 土 | | 広島：西日本支部、関西支部 | |
| 7月29日 | 土 | | 東京：東日本支部 | |
| 7月8日 | 土 | 海の博物館見学と海の話 | 故郷の海を愛する会 | |
| 7月9日 | 日 | 鳥羽の市民劇団による近藤真琴伝上演 | 同窓会本部、伊勢志摩支部、 | 鳥羽市民文化会館 |
| 7月27日 | 木 | JMU造船所見学と鳥羽商船の練習船で体験航海 | 故郷の海を愛する会 | |
| 8月22日 | 火 | 四日市港の見学と火力発電所見学 | 故郷の海を愛する会 | |
| 9月24日 | 日 | 卒業式（N,E）・修了式（海事） | 会長、地元支部役員、事務局 | |
| 9月末日 | | 同窓会会報発行 | 事務局 | |
| 10月22日 | 日 | 海学祭 | 伊勢志摩支部 | 近藤真琴展 |
| 12月下旬 | | 鳥羽商船高専 S科M科 I 科施設見学と講演会 | 鳥羽商船高専 | 故郷の海を愛する会 |
| 3月18日 | 月 | 卒業式（M・I）・修了式（生産） | 同窓会会長他会員有志 | |



同窓会会員名簿30年度版 作成中!

住所変更等、事務局までお知らせ下さい!

※写真は26年度版

平成30年度版
価格3300円

平成30年度
同窓会理事会・総会
平成30年6月3日 日 午前10時～

場所 梅田 大阪マルビル 大阪第一ホテル

平成29年度
恒例の

海学祭

10/22 日 開催

今年も
OPEN!

大阪湾水先区水先人会

〒650-0042 神戸市中央区波止場町1-5
TEL/078-321-7221

鳥羽商船同窓会一同

田中 忠士 (S38・80期) 河口 長弘 (S40・82期) 南方 日出一 (S40・82期)
藤本 昌之 (S42・84期) 鹿野 秀治 (S48・88期) 小山 道夫 (S49・89期)
山本 隆史 (S52・92期) 蛸積 史丸 (H12・115期)

故郷の海を愛する会の活動

会長 川口心也 (S40E)

◇活動9年目：

地域の小中学生に世界に繋がる海や船をもっと知ってもらおう、親しんでもらおうと活動しています。

昨年の活動に対し多くの応募があり、今までと様変わりで、嬉しい悲鳴をあげましたが、今年も同様に多くの応募を頂き、喜んでます。応募して頂いたのにお断りをした多くの方々には申し訳ないと思っています。

どうしてこのように多くの応募を頂くようになったか？

良く判りませんが、一番は8年間、真面目に活動してきた実績が少しは認められて来たのかと思います。

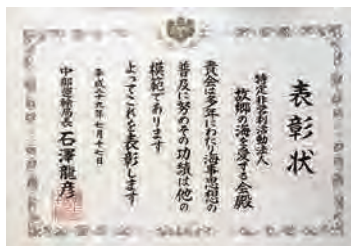
今年は従来の日本海事センター、全日本海員組合、日本中小型造船工業会、鳥羽商船同窓会の支援に加え、日本船主協会と山縣記念財団からも助成を頂いています。

日本中小型造船工業会と日本船主協会は活動に際し共催で活動しています。中部運輸局は後援ですが、活動の度に子供たちに貴重な話をさせて頂いています。

南勢海洋少年団、四日市海洋少年団、セイラビリティ伊勢と協力して活動をしています。

多くの子供たちが参加し、多くの団体に協力して頂き、当会の活動は順調に広まっていると感じています。

おかげさまで、今年の海の日の海事関係功労者表彰式典において、故郷の海を愛する会が多年にわたる海事思想普及活動の功により中部運輸局長表彰を受けました。もっと頑張っって続けてくださいとの励まし?でしょう。



会の活動の様子は、同窓会HP、日本財団の提供するCANPANブログで見頂けます。

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>

◇活動の報告：

昨年と同窓会報発行以降の活動について紹介させて頂きます。

2016年10月30日

鳥羽商船高専の海学祭で活動紹介

鳥羽商船高専で海学祭(文化祭)が開催されましたが、故郷の海を愛する会の活動紹介と校祖近藤真琴の紹介を写真パネルで展示して行いました。多くの方々に見て



頂きました。又、海学祭では活動に際し協力し合っている南勢海洋少年団と四日市海洋少年団の手旗信号実演があり、多く

の来場者に見て頂きました。一般の方々には手旗信号を見る機会がなかなかありません。「カイガクサイ カイサイ オメドトウ ゴザイマス」と手旗で紹介しました。説明しながらだったので、何を伝えようとしたのか、わかって頂けたと思います。



2016年12月10日

「もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう!

商船学校の歴史・船と海の話」実施

三重県中南勢地区の小中学生45名の参加者を得て、当初計画通り、無事終了しました。3名の講師による貴重な話や、4件の体験コーナーを全員が楽しみました。

お昼休みは、食事後、やや早いクリスマス気分で、ケーキを食べ、ビンゴゲームを行い、全員が景品をゲットし、楽しんでいました。



2017年07月08日

「海から始まる物語 IN 2017」イベントその①実施

「海の博物館見学と海の話」を小中学生65名を集めて実施しました。松阪駅と鳥羽バスセンターで合計54名が集合しバスで移動、四日市海洋少年団・南勢海洋少年団の11名が海の博物館で集合しました。主催者側の大人は21名でした。天気がよくて最高の活動日となりました。

午前中は海岸で磯の観察とビーチコーミング。午後は海の博物館で話を聞いたり、館内の自由見学やマグネット造り体験など。中部運輸局のお二人の話もありました。海の博物館の学芸員の方から津波の話もありました。

子供達は海辺で、海の博物館で大いに楽しんでくれたと思います。又、海の博物館、学芸員の皆さんにはいろいろとご協力を頂きありがとうございました。



内海水先区水先人会

〒650-0042 神戸市中央区波止場町5番4号中突堤中央ビル4階
TEL/078-391-7189 FAX/078-391-7157

鳥羽商船同窓会一同

村田 勝久 (S36・78期) 本山 幹夫 (S38・80期) 山田 登 (S38・80期)
島田 愛水 (S42・84期) 武藤 兼廣 (S42・84期) 青山 保 (S42・84期)

2017年7月27日 イベントその②実施

「JMU造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海」を小中学生61名の参加を得て実施しました。

今回は三交鳥羽バスセンターとJMU津造船所前の2か所で集合しました。雨模様でしたが、時間前に全員が集まってくれました。小中学生61名、主催者関係17名。

今回はゲストが多数参加してくれました。日本中小型造船工業会、日本船主協会、全日本海員組合、中部運輸局。又、報道関係で「海と日本PROJECT」から2名、ZTVから1名の参加がありました。

2台のバスに乗った子供たちは造船所構内でLNG船の建造工程を見学し、ドックゲートではバスを降り、集合写真を撮りました。このころから雨も上がりました。

その後、くもづホテルに移動し、造船所の歴史や建造した船の話、LNGの話、何故船が浮くかの話等、有意義な時間を過ごしました。船の材料となる厚い鉄板を持ち上げたりもしました。昼食後、バスで造船所のボンツーンに接舷している鳥羽商船高専の練習船「鳥羽丸」に移動しました。

練習船では伊勢湾を航行する大きな船をながめつつ、船内をあちこち見学し、ロープの結び方などの体験をしました。ややうねりがあり、船酔いした子供たちもいましたが、鳥羽が近づく、元気になりました。

海や船を知るいい体験になったと思っています。



2017年8月22日 イベントその③実施

「四日市港の見学と火力発電所の見学」を小中学生82名の参加を得て実施しました。

鳥羽商船高専と津新町駅で集合し、バス2台で四日市港に向かいました。

四日市港では四日市港管理組合の協力を得て、うみでらす14から港を眺め、ユリカモメに乗船し港内を見せてもらいました。ユリカモメでは管理組合職員で同窓生の西井さんに港内の説明をして頂きました。ありがとうございました。

その後、中部電力の川越火力発電所に移動し、構内の見学をしました。LNG船が運んできたLNGを焚いて発電している発電所です。そのLNG船を是非、子供たちに見せたかったのですが、残念ながら船は居ませんでした。

でも、LNGを貯蔵する大きなタンクとか、発電施設をバス車中

からですが見学出来て、子供達には良い体験になったと思っています。

電力館テラ46では「発電」について学びました。子供たちが輪になって手をつなぎ、コイルで発電して電流が流れることを体感しました。こわごわでしたが楽しんでいました。

蒸気で羽根車を回し発電する様子も実験しました。

いろいろと良い体験になったと思います。

参加者について、多くの応募があり、お断りもして、96名に参加して頂く予定でしたが、活動まぢかになって体調不良でキャンセルが相次ぎ、残念ながら当初の計画人員を大幅に割り込んでしまいました。

ですが、無事に終了できたので喜んでます。



◇終わりに：

今年度は当初の予定では4回の活動を計画しましたが、追加の活動として10月14日に「神島の自然観察と伊良湖水道」を計画しています。

同窓会伊勢志摩支部とも協力して開催しますので、伊勢志摩支部の方々もレクリエーションとして参加下さい。

(お願い)

幸せなことに参加者集めには悩まなくて良くなりましたが、その活動資金集めと、ボランティア集めが懸案事項です。資金的には鳥羽商船同窓会はじめ各海事関係の団体や明るい社会づくりの会などから助成を得ていますが、十分ではありません。多くの子供達にもっと海や船を知ってもらおう活動を続け、将来のある子供たちが母校を目指すように活動を続けたいので、同窓生の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



BLOG

NPO 法人 故郷の海を愛する会

住所 三重県鳥羽市鳥羽三丁目 31-37

TEL 090-7612-2979

E-MAIL umiwoaisurukai@yahoo.co.jp


 NPO法人 故郷の海を愛する会
 
 検索 故郷の海を愛する会
<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>

尾鷲水先区水先人会

〒591-3626 尾鷲市国市松泉町1 尾鷲三田火力発電所 運営共同企業体
尾鷲事務所内 TEL/0599-55-2700 FAX/0599-55-3114

鳥羽商船同窓会一同

川上 幹彦 (S38・80期) 畑 辰幸 (S51・91期)

学校だより

平成28年9月～平成29年8月

◎年間行事（暦順に掲載）

第45回商船学科卒業証書授与式並びに 第9回専攻科(海事システム学専攻)修了証書授与式を挙

平成28年9月25日(日)、第45回商船学科卒業証書授与式並びに第9回専攻科(海事システム学専攻)修了証書授与式を挙



式では、新田校長から商船学科卒業生36名に卒業証書、専攻科(海事システム学専攻)修了生2名に修了証書が手渡された後、「皆さんの多くが活躍する海洋は、自由で雄大な夢を持って活躍できますが、時に凶暴で、荒波にもまれ、苦難を感じることも多々あるでしょう。それを乗り切るには、あの「白鯨」の主人公イシュメールのように、強い生きる意志と他者を思いやる優しい気持ちが必要になると思います。この点をしっかりと自覚して歩んでほしいと思います。」と式辞が述べられました。

式の最後に、白い制服姿の卒業生全員が一列に並び、在校生に向かって「ごきげんよう」と挨拶し、帽子を宙高く投げる伝統の別れのパフォーマンスを行い、晴れ晴れとした姿で学び舎から巣立っていきました。

平成28年度 電子機械工学科・制御情報工学科卒業式並びに 生産システム工学専攻修了式を挙

平成29年3月12日(日)、平成28年度電子機械工学科・制御情報工学科卒業証書授与式並びに生産システム工学専攻修了証書授与式を挙



新田校長から電子機械工学科38名、制御情報工学科41名へ卒業証書が、専攻科生産システム工学専攻10名へ修了証書が手渡されました。

新田校長は卒業生らに対し、今まで以上にスピーディに変化する社会において、自らの羅針盤を持ってほしい、皆さんが飛び込む世界で困難なことがあった時も、おかれた場所で咲く努力をすることはとても重要なことかと思ひます、と祝辞を述べられました。

平成29年度本科並びに専攻科(生産システム学専攻) 入学式を挙

暖かく晴れ渡った春の日差しの下、平成29年4月4日(火)本校第2体育館において平成29年度本科並びに専攻科の入学式を挙いたしました。本科生128人、専攻科生11人の計139人が入学いたしました。

式では、林校長の入学許可の後、式辞で「在学中、多くの友人と一緒に勉学・クラブ活動に励んでほしい。皆さんが人生に迷った時、道標となる志を立ててほしい。」と述べられました。



◎各種コンテスト

高専ロボコン アイデア賞&特別賞(本田技研株式会社)の ダブル受賞、全国大会出場

平成28年10月9日に富山県氷見市で開催された、「アイデア対決全国高等専門学校ロボットコンテスト2016東海北陸地区大会」に、鳥羽商船からAチーム(ロボコン同好会チーム)、Bチーム(M5卒研チーム)の2チームが出場しました。Aチーム(ロボコン同好会チーム)は、緒戦1回戦で強豪鈴鹿高専Bチームに辛勝、2回戦で富山高専射水Aチームに破れるも、その独創的なアイデアが評価され、アイデア賞と協賛企業から送られる特別賞(本田技研株式会社賞)のダブル受賞となり、11月20日に行われる全国大会への出場となりました。鳥羽商船高専ロボコンの全国大会出場は2012年以来4年ぶりとなります。鳥羽商船高専Bチーム(M5卒研チーム)はベスト8まで進みました。



高専プロコン 主管校で最優秀賞獲得

平成28年10月8日9日に鳥羽商船高専が主管校として開催いたしました、全国高専第27回プログラミングコンテストの自由部門において、「みつばちず」チームが最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞しました。

また、トヨタコミュニケーションシステム企業賞を「HOME LOG」チームが受賞、東芝ソリューション企業賞を「みつばちず」チームが受賞しました。

競技部門では「田男(でんまん)」チームが準決勝進出を果たしました。

この大会は、全国高専の持ち回りで実施しておりますが、本校の教職員50名以上、学生120名が運営に関



りました。運営関係者からは、大変素晴らしい大会だったとの感想が多く寄せられています。大会運営には、同窓会から学生交流会の記念品購入費など多大なる支援をいただきました。校長を委員長とする実行委員会を代表してお礼させていただきます。

◎注目クラブ活動

全国高専体育大会(陸上競技) 男子400mハードルで5位入賞

第51回全国高等専門学校体育大会(陸上競技)が、平成28年8月24日(水)25日(木)に、名古屋市のパロマ瑞穂スタジアムにて開催されました。

本校から、参加標準記録を突破して男子400mハードルに出場した佐伯元規君(制御情報工学科3年)が、56秒27の自己ベスト記録で5位に入賞しました。資格記録では、エントリーメンバー中7番目でしたが、本番でしっかり自己記録(従来の自己記録は東海高専大会優勝時の56秒41)を更新して、5位まで順位を上げました。



空手部 東海地区高専大会で団体組手優勝

平成29年6月24日に愛知県豊田市で開催された東海地区 高専体育大会において、本校空手部が団体戦(組手)で優勝しました!



バレー部女子・東海地区高専体育大会で優勝

平成29年7月1日2日に静岡県沼津市にて開催された、東海地区高専体育大会において、本校バレーボール部(女子)が優勝いたしました!その後7月16日に行われた北陸地区の優勝チームとの全国大会代表決定戦では惜しくも敗れましたが、チームの底力を見せつける活躍でした。



◎地域活動・地域貢献

公開講座「サイテクランド in 鳥羽商船高専2016」及び英文多読入門講座を開催

本校では、平成28年7月26日(火)から9月4日(日)の間、公開講座「サイテクランド in 鳥羽商船高専2016」(7講座)及び英文多読入門講座を開催いたしました。

公開講座は、広く地域社会に学習の機会を提供することを目的とし毎年開催しており、今年度の講座は、小中学生を

対象に鳥羽丸の体験航海、英語の多読、ものづくり、プログラミング、理科実験などの幅広い内容で実施し、106名の参加がありました。参加者の中には、三重県北勢地区・中勢地区及び南勢地区からの参加、一人で3~4講座受講する生徒もいました。



地元池上町を対象とした「ロボット教室」を開催

平成28年10月22日(土)に地元池上町を対象とした、小学生親子で楽しく遊ぶ「ロボット教室」を開催いたしました。この講座は、本校が取り組む地域貢献活動の一環として、地元住民からの強い要望があり毎年実施しています。今年度は、小学生親子16組が参加し、北原制御情報工学科准教授から「2チャンネル リモコン・ボクシングファイター」の作り方を学んだあと、早速、製作に取り組み、「ものづくり」の面白さ・楽しさを体験しました。

◎教職員人事

採用

商船学科
制御情報工学科
一般教育科
一般教育科
総務課企画・地域連携係
総務課人事労務係
学生課学生生活係
テクノセンター

助教 田村 一夫
助教 土田 隼之
講師 勝 福代
助教 田中 秀幸
西尾 真由子
山下 茜
西尾 智裕
渡邊 陽平

転入

校長
総務課長
総務課長補佐(総務担当)
兼人事労務係長
総務課長補佐(財務担当)
兼調達係長
総務課調達係契約主任
学生課入試・支援係長

林 祐司
鶯野 晃弘
世古 浩之
三井 明
豊田 健
出口 隆洋

◎同窓生の本校教職員

齋心 俊憲(H1N)
大野 伸良(S56E)
田村 一夫(H10N)
山野 武彦(H10E)
小島 知恵(H14N)
出江 幸重(H3M)
江崎 修央(H4M)
中井 一文(H16I)
竹内 晃輔(H7I)
吉岡 裕也(H16E)
濱口 沙織(H17I)
三重野 崇亮(H23I)
秋山 武彦(H20N)
金子 将也(H22E)

鳥羽丸船長
鳥羽丸機関長
鳥羽丸一等航海士
鳥羽丸一等機関士
商船学科准教授
制御情報工学科教授
制御情報工学科教授
制御情報工学科准教授
総務課施設係係長
テクノセンター技術職員
テクノセンター技術職員
テクノセンター技術職員
鳥羽丸技術職員
鳥羽丸技術職員

支部だより

東日本支部 支部長 S43N 水野 正治

皆様ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年は内外共に大きな変化が続いた年となりそうです。この便りが皆様のお手元に届く頃には秋風が吹いている頃かと存じます。さて東日本支部の主な活動状況を報告いたします。

◇日本丸遠洋航海出港

昨年12月10日、日本丸の遠洋航海出港を見送り鳥羽商船実習生への激励品を差し入れました。今年も新港埠頭5号岸壁からの出港で、風は少しありましたが好天に恵まれ一般の方も多く賑やかな見送りとなりました。

◇日本戦没・殉職船員追悼式

本年5月11日、第47回日本戦没・殉職船員追悼式が横須賀市観音崎公園「戦没船員の碑」にて開催され、増田さんと私の2名で出席いたしました。平成29年5月現在、戦没船員60,643名、殉職船員2,969名、総計63,612名の御霊が奉安されています。

◇攻玉社同窓会総会

5月13日、芝公園のメルパルクにおいて攻玉社同窓会総会懇親会が開催され、田中会長と私で出席いたしました。83名の出席者のうち、私と同じ年次の方は若い方から5番目では先輩ばかりで最年長は昭和20年卒業生が2名いらっしゃいました。懇親会では7月9日鳥羽市で公演予定の近藤真琴物語の紹介があり参加を呼びかけていました。

◇横浜港カッターレース

5月21日、第34回横浜港カッターレースに参加いたしました。今年も昨年同様に一般とシニアで2艇の参加を果たすことができました。一般艇は2分48秒の好タイムで4艇中堂々の1位、昨年より36秒も縮める驚異的な成績でした。シニア艇はスタートの出遅れが響き4艇中3位でしたが、タイムは昨年より2秒縮め3分6秒でした。詳細は同窓会ホームページをご参照下さい。来年は3艇出場を目指しますので是非若手の方の参加をお願いいたします。

◇合同進学ガイダンス

7月29日東京、同30日横浜ナビオスにて合同進学ガイダンスが開催されました。例年同様に夫々地元の教育委員会や中学校に働きかけ少しでも興味を持って戴けるよう依頼しました。29日は岩田さん、30日は私が参加しました。鳥羽ブースでは終了間際まで熱心に説明を聞いている方があり、この中から少しでも多くの受験生が集まる事を祈念しています。

○支部総会懇親会予定

本年は以下の予定で開催いたしますので、会員各位多数のご参加をお願い申し上げます。

皆様のご出席を心よりお待ちしております。

・日時 平成29年10月28日(土) 16時00分から
・場所 ナビオス横浜 ・会費 5千円

中部支部 支部長 S53N 山川 博之

この度、平成29年度本部総会において、中部支部長を拝命しました昭和53年航海科卒の山川です。今後とも同窓会活動を持続的に活性化するために、本部と連携しながら中部支部の取り纏めを私なりに尽力しますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

さて、平成29年度の本部総会を6月4日に中部支部が担当支部として名古屋で開催しましたが、本部並びに会員各位のご理解、ご協力により、盛況に挙行できたこと、まず以って厚く御礼申し上げます。

その中で、本部役員改選により、中部支部が推薦しました歴代の中部支部長である昭和48年航海科卒の菅沼氏が会長に、昭和52年機関科卒の加塚氏が副会長に就任され、本部近隣の中部支部が本部との関わりが今まで以上に深まり、今後の同窓会活動の連携強化に努めていく所存です。

次に支部だよりとして、平成28年度活動報告をさせていただきます。

毎年恒例、春と秋の2回行っている名鳥会ゴルフコンペを平成28年度も第37回を5月22日に、第38回を11月27日に開催しました。平成29年度も継続開催として本部総会開催の1週間後の6月11日に開催し、秋季の開催も11月26日に開催予定となっています。

一時は、参加人数少なく、開催が危うくなっていましたが、幹事、参加者の口コミで最近では、若い方の参加含め継続参加により盛況に開催しています。

5月27日、中部支部定例総会を30名の出席により開催しました。毎年の出席者の顔ぶれは余り変わりなく、若い方、工業系同窓生の参加を促すことが従前からの課題となっています。

平成28年11月11日、名古屋港フレンドリーボートの行事の一環として毎年、海事教育機構の練習帆船入港に合わせて本校練習船「鳥羽丸」が入港し歓迎表敬訪問しました。(毎回、綱取りは、本校OBの港湾管理者である名古屋港管理組合職員が行っています。)

本年平成29年は名古屋港開港110周年の年にあたり、記念イベントとして、11月10日(金)には、練習帆船「日本丸」「海王丸」の僚船が入港し、11日(土)にはセイルドイル、12日(日)には船内一般公開、15日(水)に登艦礼が予定されています。今年度も本校練習船「鳥羽丸」入港予定があり、その際には歓迎表敬訪問の予定です。

それに先立ち、先日、7月28日には練習汽船「青雲丸」入港し、30日(日)に船内一般公開がありました。本校学生も乗船しており、飲み物の差し入れをしたところでした。

又、平成29年2月3日に、第3回目を迎えた名古屋港の海事関係同窓会である「全船協」「海洋会」保安大中部地区OB会「若葉会」の集いとして「めいよう会」が開催され、中部支部からも参加し、今回も東京から全船協会会長であるS38年機関科卒の岩田仁氏が出席、来賓挨拶をしていただきました。今後も参加することにより、地元海事関係者の情報交換、連携を深めるところです。

3月3日には、役員改選に係る本部役員等の支部推薦、本部支部総会の開催等の議題とする役員会を開催しました。

このように、例年、代わり映えのない活動となっていますが、中部支部の活動として、本部会費以外に別途、支部会費を徴収しており、その中で、身の丈にあった活動を行っているところでありますが、今後の同窓会活動の持続するためには、若い方、工業系の会員の参加を呼び掛けていくことが、本部と共通の継続的な課題となっており、本部との連携により少しでも改善していく所存です。

今回、本部総会を幹事支部として名古屋で開催するにあたって、中部支部会員に寄附金を募ったところ、下記の方々から支援いただきましたので、ご報告します。支援いただいた方々、厚く御礼申し上げます。今後とも同窓会活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

平成29年度鳥羽商船同窓会総会寄附者

| 航海学科 | | 機関学科 | |
|------|---------|------|-------|
| 卒業年 | 氏名 | 卒業年 | 氏名 |
| S36N | 佐藤 昭雄 | S54N | 森内 芳卓 |
| S37N | 中島 章 | S55N | 浅野 清 |
| S38N | 小久保 又五郎 | S61N | 山口 淳 |
| S41N | 丹羽 幸彦 | S22E | 三浦 一好 |
| S43N | 小林 司 | S32E | 岡 久志 |
| S48N | 菅沼 延之 | S43E | 牧野 博久 |
| S48N | 宗接 万太郎 | S50E | 服部 誠 |
| S51N | 千道 英雄 | S52E | 加塚 伸吾 |
| S51N | 坪井 繁明 | S52E | 水谷 眞仁 |
| S52N | 畑内 康孝 | S53E | 伊藤 彰英 |
| S53N | 坂口 浩一 | S60E | 関谷 純二 |
| S54N | 鈴木 晴敏 | S62E | 池田 義昭 |
| S54N | 西浜 卓巳 | | |

四日市支部 支部長 S61E 西井 育央

同窓会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

7月8日に開催されました四日市支部総会においてご推挙を賜り、支部長に就任しました西井育央(S61E卒)です。

鈴木敏行支部長(S43E卒)の後を受け支部長の任を拝命しましたことは、大変光栄に感じるとともに、責任感と使命感に身の引き締まる思いです。

歴代支部長はじめ諸先輩方が築かれてきた歴史と様々な成果を継承し、若輩者ではありますが、役員および会員の皆様のご支援を賜りながら四日市支部の同窓会活動活性化に向けて取り組んで参ります。

さて、支部報告ですが、我々の活動基盤である四日市港では、毎年8月の第一日曜日に「四日市港まつり」の恒例のメイン行事として「四日市港カッターレース大会」が開催されています。この大会は、昭和62年に片山勝則元支部長(S33N卒)、中澤昌信元支部長(S37N卒)が計画発案され、開催にあたっては四日市港で働く支部会員の皆様のご尽力で始まり、30回目を向かえた今年は、8月6日(日)に全国から男女合わせて68チームの参加があり例年通り盛大に行われました。

今年も支部会員の皆様はレース(漕ぎ手)に参加するのではなく、谷水一隆(S56N卒)大会顧問、吉田実(S55N卒)大会総括、田中博繁(S56N卒)実行委員をはじめ運営スタッフと

してたくさん支部会員が参加し大会を盛り上げていただきました。また、この大会には現役の学生が「練習船鳥羽丸」に乗船し運営スタッフとして、また、もちろんレースにも毎年参加いただいています。なお、学生のレース結果は8位入賞となりましたが、今年の高専大会で優勝したカッター部員は、当レースの使用艇が12名艇(漕ぎ手)ではなく、海洋少年団が使用する6名艇で行われており、慣れていないか本来の力が出せなかったと、とても結果に残念がっていました。四日市支部としましては、支部会員と学生がカッターレース大会を通じ一同に会し、共に活動し、共に汗を流し、共に飲み、信頼関係が深まり、それぞれ年齢はちがえど、同じ仲間意識を持って親しみを感じつつ、交流の場、親睦を深める同窓会の支部活動の絶好の機会としてとらえており、諸先輩方が手作りで作り上げてきたこの大会の継続を願うところです。

結びに、四日市支部の活動にご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、母校のさらなる発展と同窓の皆様のご多幸を祈念し、今回の支部活動報告させていただきます。

《その他、主な支部活動》

平成29年2月24日:支部役員会

平成29年7月 8日:支部総会(出席者別記)

平成29年8月 6日:「鳥羽丸」入港歓迎表敬訪船(四日市港まつり参加)

◎四日市支部総会出席者

(S37N卒)石垣 三郎 (S41E卒)木崎 喜富
 (S43N卒)鈴木 秀敏 (S43N卒)服部 光幸
 (S43E卒)鈴木 敏行 (S55N卒)室 博也
 (S56N卒)田中 博繁 (S59E卒)西村 譲治
 (S59N卒)山木 聡 (S60N卒)笠松 伴
 (S61E卒)西井 育央 (H 2N卒)待井 健司
 (H 4E卒)伊藤 英樹 (H 6N卒)相良 球一
 (H11E卒)岡山 雄一 (H13N卒)犬飼 和孝
 (H21E卒)酒徳 洋輔
 (計17名:敬称略)

伊勢志摩支部 支部長 S43E 三井 健次

私事ながら最近古稀を迎えた。七十年生きる人は古くから稀であるということですが、母校はその倍を生きている。そんな母校を誇りに感じるのは私だけでしょうか?

さて伊勢志摩支部理事会を開催しました。

開催日時 :平成29年4月1日11:30~12:30

場 所 :百周年記念館 2F会議室

出席理事 :三井・大西・川口・溝井・江崎・山口・西山・山口

木下・塩野・江崎(修)北端・中井・オブザーバー:2名
 協議事項

1.定期総会(6月4日・名古屋)

次期同窓会会長及び副会長の立候補及び推薦について。

2.伊勢志摩支部新理事の選任

3.卒業式出席と卒業生同窓会会費納入促進プレゼン(2回)



本社/広島県呉市
 事業所/仙台・埼玉・名古屋
 大阪・神戸・岡山
 米子・高松・広島
 下関・福岡、他64カ所

本社 〒737-0051 広島県呉市中央1丁目6-9
 センタービル呉駅前7階
 TEL/0823-24-2727
 http://www.muroo.co.jp

相談役
 山下 文徳 (S41E・83期)

4.NPO法人故郷の海を愛する会への協力と助成

年度末に赤字となった場合多少の追加助成に応じる。

(28年度の追加助成は発生しなかった)

校祖近藤真琴翁の業績を地域の人に知ってもらう活動。

目的を同じとする団体に協力し積極的に進めていく。

(近藤真琴物語「攻玉伝」上演日/平成29年7月9日(日))

場所/鳥羽市文化会館)

5.「近藤真琴ものがたり」冊子発行への協力

6.同期会開催奨励金制度は今年度も継続する

28年度は4件の制度利用があった。

7.伊勢志摩支部同窓会員のレクレーションとして神島

ハイキングを秋に行う「故郷の海を愛する会」と共催

8.海学祭開催協力金と模擬店出店協力

協力金額については同窓会事務局と協議する。

9.その他

7月9日の「攻玉伝」上演に参加した母校学生をみて、母校に明るい未来を感じました。伊勢志摩支部同窓の皆さん、共に少しでも同窓会活動に参加してみませんか。

関西支部 支部長 S52N 田中 潔

1. 理事・幹事会開催

平成29年度本部総会が6月4日開催され、籠田支部長の後任としてS52N田中潔氏を新支部長として報告すると共に、理事会に参加しました。

2. 本部総会・懇親会

中部支部主催の本部総会、理事会及び懇親会に関西支部から田中支部長及び國安理事が出席しました。

3. 国立高専(商船学科)5校合同進学ガイダンスに参加

6月10日(土)三宮研修センターにて13時より開会されました。

4. 平成29年度関西支部総会

9月初旬に関西支部幹事会を開催する予定で、今年の支部総会の日程等を検討します。昨年は12月10日(土)神戸で開催しましたが、今年は大阪開催を考えております。

5. その他

(1)卒業以来、永年同窓会を支援していただいた故岡室孝美(S52N)の7回忌を迎え、平成29年8月26日(土)17時から、高専6期生を中心に「岡室さんをしのぶ会」を開催します。

(2)平成29年10月末に母校練習船鳥羽丸が大阪港開港150年記念イベントに参加します。表敬訪問及び差し入れをする予定です。

以上

西日本支部 支部長 S41N 中野 正義

・平成29年1月17日 新年会

中野支部長の呼びかけで、北部九州の有志による新年会を開催しました。当日の出席者は、下記のとおりです。

敬称略:三角(S32E)・福岡(S33N)・佐野(S33N)・山下(S41E)中野(S41N)・野村(S42N)・神子(S48E)・柴田(S56E)

福岡の天神のお店で18時半より21時まで歓談しました。当日は阪神大震災から22年目にあたる日で、各人に当時の話をして頂き、盛り上がりました。このような新年会も継続していきたいと話をし、6月の支部総会に会いましょうと解散しました。

○平成29年6月4日 本部総会

本来、出席予定の中野支部長が怪我の為、欠席となり理事の神子1名で出席しました。

○平成29年6月24日 支部総会

恒例の下関の海峡ビューホテルしものせきで、開催しました。今年は常連の山下さんが、瀬戸内ヨットレース大会と重なり欠席となり、三角さんも都合がつかず欠席となりました。只、怪我で入院中の中野支部長が16時半頃、病院の外出許可を得て奥様同伴で、顔を出して下さいました。参加メンバーと1時間程、歓談され全員で記念撮影して、病院に戻られました。

参加者は、下記のとおりです。 敬称略

福岡(S33N)・太田(S33N)・佐野(S33N)・片岡(S33N)・加藤(S35E)・野村(S42N)・永井(S47E)・鹿野(S48N)・横井(S48N)・江尻(S48E)夫妻・河本(S51N)・柴田(S56E)・神子(S48E)

初参加の、鹿野、横井両氏は、神戸から参加してくれました。又、江尻さんは、昨年この総会で、お米(真珠米)を試食してもらって美味しいと買って頂いた先輩方にお礼を兼ねて夫婦で参加してくれました。18時半より宴会が始まりました。冒頭、小生より6月4日に名古屋で開催された本部総会の話、また、本総会で田中会長が勇退され、菅沼新会長が選出されたことの報告をしました。そして、菅沼さんは私の同期でもあり、高専になって初めての会長であり、今後の活躍に期待していると話しました。宴会の方は、福岡元支部長の乾杯の挨拶で進みました。初参加の横井さんが持参したウクレレで自慢の作詞作曲の歌をお披露目してくれました。21時で宴会は終了し、恒例の2次会を401号室で日が変わる頃まで、元気な諸先輩達と駄弁っていました。翌日、朝9時半頃ロビーに集まり、来年の再会を約束して解散しました。西日本在住の同窓生の皆さんも、来年は参加して寮生活の話などしませんか?ご検討宜しくお願いします。

○平成29年6月25日 全国5高専商船学科合同進学ガイダンス(広島)

13時より広島駅近くのワークピア広島で、船主協会主催による上記ガイダンスにOBとして参加してきました。当日は総勢70名ほどの学生・父兄が参加されていました。本校からは伊藤教官、片岡教官が参加されました。例年と違い今年は10組近くの学生・父兄が鳥羽のブースで教官達の説明を、熱心に聞き入っていました。OBは私の他に現役のデッキオフィサー(伊藤教官の教え子)が制服で参加され、中学生にわかりやすく説明していました。広島から数名でも、受験してくれることを期待したいです。余談ですが、彼と雑談の中で、鳥羽商船の同窓会に入っているの?と聞いたら入っていないとのこと。若い商船高専の卒業生に同窓会をもっとPRしていく必要があると、感じました。

(記述 神子 功)

クラス会

国立鳥羽商船77期生同期会開催 岩崎 敏壽

10月14日1400時、晴れ渡った秋空のもと、青春の思い出が一杯詰まった母校鳥羽商船に18名の同期生が参集。五年振りの再会にやあ、やあと笑みがこぼれる。



江崎同窓会事務局長、武部君(80期)等の出迎えを受けた後、石田副校長に校内を案内してもらう。

最初に同窓会会館(100周年記念資料館)内の展示品の説明を受け、飾られた東郷元帥揮毫の書等に母校の歴史の重みを感じ、古びた操舵装置や機関の模型などを目にして懐かしさがこみ上げてくる。

次に練習船鳥羽丸見学、同船のブリッジやエンジンルームに装備された最新の計器、機器類(ECDISやAIS付レーダー等)に目をみはり、学生が社船に乗船した時にすぐに対応できるようにしてあるとの先生の説明を聞き、今の学生は幸せだなと思う。焼玉エンジンを装備した小艇、龍丸で達着訓練した時アスターンが入らず前の砂浜に乗り上げたこと、同船を母船として伊勢湾を巡航したことなど懐かしく思い出す。

その後校内に移動、ここでも充実した実習設備、素晴らしい寮内施設(二人部屋等)を見て隔世の感を抱く。

校内見学では石田副校長がとても丁寧案内してくれたことと、後半は皆少しバテ気味となりスローペースの移動になった為時間をとり、予定を大巾にオーバーし約2時間余りを要したがとても思い出に残るものとなった。

(アテンドして頂いた石田先生や段取りして下さい江崎、武部御両名に深謝いたします)

この後安楽島にある鳥羽シーサイドホテルに移動、1630時過ぎチェックインし眼下に広がる燕子水道(安楽島と坂手島、菅島間の狭水道)などの素晴らしい景色を眺めながら一風呂浴び1800時宴会開始。

鯛の姿造りを前に全員で記念写真を撮り新来島ドックで活躍する黒崎君の音頭で再会を祝し乾杯、既に鬼籍に入った20名(約三分の一)の御冥福を祈った後お料理とお酒を楽しむ。宴会が始まるとすぐに50有余年の時空を一挙に飛び越え気分は元気澁刺とした学生時代に。賄いのおばちゃんが大きな岩塩を放り込んで朝の味噌汁を作っていたこと、カッターで漕ぎだしたところ強い北風と逆潮に阻まれ帰校出来ず遭難しそうになったこと、マドンナ、ゲットに情熱を注いだこと、伊勢湾台風(伊勢湾一帯に甚大な被害をもたらす死者、行方不明者約五千名を

数える)で寮の屋根瓦が飛び、窓ガラスが破れ、床上浸水した為全員食堂に非難することになったが周囲の状況を確認している間に食堂が全壊し命拾ったこと、同台風の為約一か月余り休校となり授業日数不足となった為、体育祭、カッターレース大会、修学旅行が中止されたこと等、等、話題は尽きずその後は健康維持の話が中心になる。お酒片手に席を移動しながら思い出話、近況等を語り合ううちにあっという間に楽しい時間は過ぎ、最後に全員で力強く寮歌を歌い江藤君の鳥羽商船77期生万歳三唱で9時散会。席を変え2次回となったが皆疲れの為かお酒も余りすすまず、24時前には床につく。お酒飲み放題のプランはあまり効果を発揮せず。

翌15日朝、ゴルフ組、観光、帰宅組に分かれ元気などと、声を掛け合いながら散会。

我々77期生の同窓会は古希の祝いを兼ねた前回の集まりから5年振りに開催されたが、おそらく今回が最後(最後の修学旅行)になるだろうと思われる。スマートな制服に身をつつみ颯爽と街中を闊歩した紅顔可憐な美少年も今は年齢相応の爺ちゃんになり、何人かの現役を除いてファイナルステージを迎えようとしていることを考えれば致し方ないのかなと思う。

が、そう言わずにまた皆で会おうよとの声もあったので健康維持に留意し次の機会を得ることが出来ればと願う次第である。

(出席者N科、江藤、大西、佐藤、中西、村田、岩崎、E科、伊藤、江川、大滝、加藤(和)、北村、黒崎、小平、染谷、塚中、内藤、西村、三好) (岩崎 記)

「77期の同期会の記事は、事務局のミスにより前年の会報に掲載出来ませんでした。1年遅れの掲載となってしまいました。お詫び申し上げます。編集委員 (S50E西山)」

高専1期 同窓会 永井晴久(代 富岡栄一郎)

平成28年9月3日-4日、高専1期(入学)65歳同窓会を、熱海の山本旅館で開催しました。52名の卒業生の内25名が参加しました。前回の還暦同窓会の時より、第1線を退いたかも増え、参加者も微増しました。参加者は、集合写真の、(左後から)高井、田中(孝)、田中(国)、川添、富岡、和田、山田、橋本、岸(左中から)小出、奥村、森本、矢野、宮川、浜地、北、藤本(左前から)長谷川、大川、中村、永井、岡本、下野、田中(秀)、水谷約44年振りに再会するもの者あり、互いに確認しあう場面もありました。



2次会を含め、盛大なうちに時間が過ぎて行きました。今回は伊勢志摩(サミット)で、70歳同窓会を行うことを確認し、「それまで皆な生きとれヨ!」の言葉で散会しました。元気な8人衆は、西熱海ゴルフコースで、ゴルフを楽しみました。

幹事代行



名古屋メッキ工業株式会社
NAGOYA PLATING CO.,LTD.

本社
熱田工場・事務所
守坂離工場
海のロマンス工場
櫻葉工場

本社
〒467-0863 愛知県名古屋市長区瑞穂区牛巻町4番6号
TEL/052-882-3954
http://www.nagoya-mekki.com

代表取締役
菅沼 延之 (S48N・88期)

S40年卒 クラス会 開催 川口

10月20日、我々の故郷である鳥羽の鳥羽シーサイドホテルでクラス会を開催しました。

18名が各地から参集し、昔話等、楽しい時間を過ごしました。2年毎



に開催していますが、前回に比べ今回は参加者が大幅に減少し、寂しくなってきました。専攻科を卒業して50年、時の経過を感じます。今回は3時集合、6時から宴会、8時からカラオケ、その後、部屋でカタフリ。話は尽きません。近況報告では、個展を開く人、社交ダンスを楽しみにしている人、若い女性の茶飲み友達が出来た人、いつまでも仕事に精を出している人、いろいろです。そうそう、NHKの番組に登場した伊勢湾パイロットの話もありました。

21日の朝、2年後、又、鳥羽で全員が集合しようと約束し、散会しました。ゴルフに出かける人達、伊勢湾フェリーで移動する人、高野山に出かける人、賢島に行く人、直帰する人、いろいろです。集合写真。

向かって手前左から 関口、樋口、中西、杉田、中久木、井上、渡辺、山口 後列 川口、片岡、吉倉、平井、丹羽、三村、伊達、前田、鈴木正、山下

毎度、楽しい時間、いい仲間です。幹事の丹羽に代わって、クラス会の報告をします。

次回幹事 川口

78期(国立8期生) クラス会 松浦肇 S36N

H28年11月7日、クラス会がエクスピア鳥羽アネックスにおいて開かれました。総勢29名(うちご婦人6含む)参加と、段々参加者が減っていくのは寂しい限りですが、何人か



が後期高齢者の仲間入りとなった年齢ですから、本人の健康状態もさることながら伴侶の健康事情も加わり、やむを得ない欠席の理由が増えてきました。それはさて置き、会場のXIV「白帆」での宴会は、大いに盛り上がり、つかの間、青春時代に戻ることが出来ました。中には、卒業以来の再会場面も加わり、一人2分以内という制限付きのスピーチや同窓会作成の校歌・船歌のCD伴奏での合唱、3時間があつという間に過ぎ去りました。宴会終了後は、ラウンジでピアノ・サクソホンの生演奏が流れる中、おとなしく食後のコーヒータイム(もちろん、アルコールも)に浸りました。翌日は、懐かしの母校訪問に18名が参加し、百周年記念館や近藤翁記念碑、今は無き旧寮や食堂付近を散策。その後本館会議室で石田教授(副校長)や若手3人の先生方から『最近の学校事情』もうかがいながら懇談することが出来ました。この

母校訪問に関しては、学校への根回しや当日の案内など、2期後輩の武部二三男氏(同窓会役員)に大変お世話になりました。この紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。その後、伊勢市の「朱の香(ときのこう)」に移動し、別れを惜しみながらの昼食会となりました。ちなみに、この「朱の香」は、同級生の須永博さんご子息経営のレストラン(パンカフェ)で、ネットで検索すると女性に大変人気のあるお店です。さて、我々全国ネットの正式クラス会は今回を最後とし、今後は関東・中京・関西の地区クラス会を通じて、随時集まろうということになりました。いつまでも元気に顔を会わせたいものです。

集合写真は、後列左から

外松伊三夫、穂刈崇明、目黒邦夫、佐藤昭雄、高橋卓、斎藤正、坂倉修、小出哲夫、木澤勝、佐藤要、飛田喜八郎、伊藤忠彰、小野斗章、森本昇治、大西彰夫、須永博、築田秀平、杉本嘉隆、水野武史、 前列左から、安藤裕、穂刈夫人、松浦夫人、友田夫人、長谷川雅昭、松浦肇、村田勝久、長谷川夫人、坂倉夫人、水野夫人、以上29名です。終わり (文責松浦)

S42卒 クラス会 溝井

平成28年11月21日、昭和42(本科)卒のクラス会を鳥羽シーサイドホテルで開催しました。今回は4年半ぶりの開催となり各地から19名が集結しました。



懇親会、2次会(カラオケ)、3次回と進むにつれ寮生活、アップ時代の思い出話に花が咲き時間のたつのも忘れました。翌日、ホテルからマイクロバスに乗り、皆さんの希望に沿って旧鳥羽市街、やきめし坂を通して内宮に参拝、おかげ横丁で「伊勢うどん」をすすって散会しました。

後(左から)青木、石倉、岡田、野村、高橋、柴原、溝井、藤本中(ク)水野、山本、竹川、橋本、小池前(ク)金田、海保、島田、豊崎、熊木、安田

76期同期会(喜寿を迎えた仲間たち) 下川公一

新緑若葉に映えて快い青空の下、5月17~18日、木戸先生お住まいの津に、遠くは北海道から、既に過ぎた者もおるものの、殆どが喜寿を迎える歳、功成り名を遂げたツワモノ?が、奥様含め18人、ご高齢の先生を囲んで嬉しい感謝な時を過ごしました。事前に幹事から「我が人生3分間スピーチ」と題して各自話すように言われており、いつもながら神田さんの内容の奥深さ、ユーモアたっぷりの話術に、腹を



抱えて笑い転げたり、増田さんの入門ノートについては、長年教育者としての歩みの後、家族を置いて単身北海道へ、晴耕雨読の毎日に蓄積された博識、深い人間性とお姿に唸らされたり、失敗談あり、成功談あり、あつと言う間の時の流れを惜しみつつホテルの部屋へ。翌18日は早めに帰る者を除いて、野田幹事ご夫妻他4人がゴルフに。又、ご厚意により地元の柴山幹事ご夫妻の車2台に7人が分乗、津市内観光に、多くの者が各地から鳥羽へ通過駅の津、降り立つのは初めての者が多く、三重県の県庁所在地らしい街並み、総合博物館、総合文化会館、阿漕海岸等を案内して戴き、唯々感謝でした。同期も半分は世を去り、一抹の寂しさを抱えつつ、来年も元気で会おうと言葉を交わし、木戸先生いつまでもお元気でと祈りつつ、津を後にしました。

会員の投稿 活動紹介

プロコン開催 伊勢の人

2016年10月9日(日)
昨日10月8日は伊勢市の観光文化会館で開催されている高専プロコンを見てきました。母校が主幹校です。競技部門は舞台上で競技



するのですが、それを観客席で見ました。

1回戦、鳥羽商船は第5試合で10校と競い、結果は1位。まずはご立派!ゲームは「ホントの魅力がミエますか?」と題したパズル。ピースを早く完成させた方が勝利。母校は1位だったけれど、パズルを全部完成させたわけではなく、途中で「完成」??? これで1位?? 良く判りませんね—。66校が参加して、パズルを正確に完全に終わらせたのは1校だけ。鳥羽商船はポイント稼ぎで1位。今日9日は準決勝が昼前に始まるかと。他、自由部門で2チームが母校から参加。今回の本選に参加しているのは21チーム。HOME LOGと題した発表を生中継TV、スマホで見ました。評価は?? もう一つは競技部門とダブったので見てません。ロビーのソファの片隅で、どこかの学生が発表するのでしょうか、最後のあがきをしていました。(プレゼン内容を言葉に出して、一人でブツブツ…)若い人が一生懸命頑張っているのはイイですねー。

プロコン開催 伊勢の人

10月9日 わが母校、競技部門、準決勝敗退でした。残念! 決勝戦での優勝はモンゴルチーム、2位は弓削商船。パズルのピースが形よく埋められているのを期待しましたが…。じっくり時間を与えて、プログラムのみで如何に早く正確にパズルを完成するか競ったほうがおもしろかったかと思えます。

プロコンだもの。自由部門の2チームの結果はわかりません。鳥羽商船、主幹校として多くの教職員・学生が頑張ったようです。お疲れさまでした。



海学祭で模擬店など開店 伊勢の人

2016年10月30日(日)
母校で海学祭が開催されましたが、同窓会伊勢志摩支部の有志が「長老庵」模擬店と「中村コーヒー店」を開店しましたので、紹介



します。尚、全ての売上げから材料費を引いた残りは全て同窓会へ寄付しています。

海学祭では「同窓会受付」も本部脇に用意して、同窓生の立寄りを待っていますが、今年は埼玉・岸和田から来られた会員2名のみ。

海学祭にはもっと多くの同窓生が来ていると思います。ぜひとも「同窓会受付」もしくは百周年記念館内の「同窓会事務室」にも寄ってください。

前田画伯の個展 開催されました 葛生化石

2016年12月11日(日)
S40年N卒前田良平画伯の「前田良平展」~うつき身の暫し仮寝の旅枕~が横浜の横浜画廊元町店で12月2日から7日の間、開かれた



ので、同級生4名がそろって絵を鑑賞と陣中見舞いに行ってきました。前回と同様に、相変わらず隠し絵が有って、其れを一つ見つけると他の絵も何処かに有るような気がして…?

また、日本丸と海王丸、矢張り我々にはとても嬉しい絵でした。みんな「将来このような画伯になろうとは誰も想像もつかなかった」ともかく、頑張っている姿を見るのは仲間として誇らしいですね。

個人情報に関わる情報は同窓会ホームページに 投稿しないようご注意ください。

同窓会ホームページは、会員に限らず多くの方が見る事が出来るので悪用される可能性がございます。投稿された場合、掲載を見合わせます。

2016年12月19日(月)
S57N卒 宮本恭夫君 西回りヨット世界一周
ペンギンパレードプロジェクト始動

奥様とヨットで海外
にいくための練習航海
の途中、鳥羽に立ち寄
り同窓会事務局を訪問
してくれました。
S57N卒 宮本恭夫君が
ヨットで奥様と2人で



西回り世界一周の長い航海に出発致しました。
宮本君は昭和57年鳥羽商船航海科卒業後外国航路の2等航海士(25才)を最後に陸に上がり、都内大手IT企業を53才で退職し、故郷の茨城に戻り今は無職です。趣味が高じて茨城の大洗町のマリーナにExcept One(総トン数5トン、全長10m)を所有し、今は世界一周を志すまでになってしまったようです。奥様の英子さんのヨット歴はExcept Oneを購入してからのわずか2年です。当初は今年11月からのオーストラリア迄の航海を目指していました。予行練習で6月から本州太平洋側を航海中母校に立ち寄り同窓会事務局を訪問して頂きましたがいつのまにか西回り世界一周の大航海になってしまったようです。今回も気ままなプライベート航海で4年後、お二人が無事日本に帰ってくる事を心から願っています。
航海計画は本年12月末父島を出てサイパン→グアム→ラバウル→ケアンズ(AUS)→クックタウン(AUS)→ダーウィン(AUS)→クリスマス島(AUS)→ココス諸島(AUS)→モーリシャス→マダガスカル→リチャードベイ(南ア)→ダーバン(南ア)→ケープタウン(南ア)→セントヘレナ島(イギリス領アフリカ大陸西の大西洋)→アセンション島(イギリス領アフリカ大陸西の大西洋)→ブリッジタウン(バルバドス、ベネズエラの北)→キュラソー(ベネズエラの北)→クリストバル(パナマ)→パナマシティ→ヒバオア(マルケサス)→タヒチ→サモア→フィジー→トンガ→バヌアツ→ソロモン諸島→パラオ→フィリピン→台湾→沖縄(那覇)2019年12月到着予定くれぐれもご安航を祈ります。
同窓会事務局一同

ヨットで世界一周します
N57宮本恭夫

2017年1月24日(火)
昨年は国内を練習航海
していたのですが今年
から海外に出ています。
小笠原からサイパン、
グアムまで来ました。
これから赤道を越えて
パプアニューギニア、オーストラリア、珊瑚海を越えて西回りで世界一周します。寄港予定を添付します。お近くのかたがいっぱいいらっしゃいましたら是非遊びにきてください。『冷たい』ビールなど



で激励していただけると家内共々感涙の極致で御座います。

Penguin Parade Project(ペンギンパレードプロジェクト)

ブログ <http://blog.livedoor.jp/penguinparade/>

8月25日現在はバリ島を
目指して航海中とのこと
その時のブログを紹介
します。

バリ島を目指して
コモドを後にしてまた
バリ島を目指します。



CG, Binary star, Saloma 2, Tacman が近くにいます。あららラー船団に先行してバリを目指していたはずが…風もよいのでサンボア島のカナンガまで105マイル進みます。途中、右手に活火山Sangeang。この山の風下で強烈な吹き下ろしに会いました。それも熱風。わずか1時間ですが肝を冷やしましたぞ。

講演会「伊勢と第五福竜丸」で後輩の話

6月10日の午後、伊勢市のイセシティプラザで講演会「伊勢と第五福竜丸」がありました。会場はほぼ満員の大盛況。ピクニック環礁での水爆実験で被爆した第五福竜丸を60年程前に伊勢市の大湊の強力造船所で改装したそうですが、今は東京都の夢の島で展示されています。それに関連する講演がありました。その中で最後に伊勢市立厚生中学校の卒業生として釜谷優来さんか話をしましたが、何と学校の制御情報科の一年生でした。「とうとう、会えた」で始まる彼女の話。彼女が読んだ本の主人公にやっと会えたと。なかなかヨカッタですよ。



全国商船高専漕艇大会(カッター)
母校優勝!!

7月17日、鳥羽市池の浦湾で5商船高専がカッターで競い合いました。Aチーム、Bチームともに母校が優勝です!!頑張りました。私も学生の頃、三重大、水産高校と毎年レースがあり、カッターを漕いだ記憶があります。あの頃と、スタートとか回頭のやり方が違いますね。きっとこちらのほうが速いでしょう。いくつか写真を添付してレースの様子を紹介します。



平成29年8月24日
 全国商船高専漕艇大会(カッター) 応援記
 77期生 岩崎 敏壽

平成29年7月17日(海の記念日)母校開催の第52回全国商船高専カッターレースの応援に出掛けた。小生は6年前(平成23年)初めて同大会の観戦、応援のため鳥羽に出掛け今回6年ぶりの母校訪問となった。(主管校は各校持ち回りなので原則5年ごとだが)今回は郷里伊豆での墓参後の応援となった為名古屋経由鳥羽行きとなった。16日夕名古屋駅ホームの「快速鳥羽行」のアナウンスを懐かしい想いで聞きながら車中の人となり第二の故郷鳥羽に向かった。学生の頃は未だSLで、煤のため夏の白い制服の汚れが気になったこと、伊勢平野に入ると白い誘蛾灯の灯りがあちこちに見え幻想的な情景を醸し出していたこと、一年生の頃は鳥羽に近づき寮の明かりが見えてきた時は緊張し、憂鬱な気分になったこと等半世紀余りの様々な思い出が甦る郷愁の鳥羽行きとなった。



当日は同窓会館に一泊し翌17日朝、池ノ浦会場(練習船鳥羽丸の係留場所)に出かけると、三艇が最後の練習をしており、小生も商船Bチームの選抜クルーとして朝、夕こ池ノ浦で猛練習したことを懐かしく思い出す。

六年前鳥羽で観戦した時母校は五連覇を達成、その後二連勝して前人未到の七連覇を成し遂げたがここ三年間は低迷していたので母校学生に調子の如何を聞いてみると今年はそのこいけそうだとの返事、教職員の方のお話でもしっかりと仕上げてきましたとのこと。期待の持てる返事だったがさて本番は?期待と不安の入り交じった気持ちでスタートを待つ。開会式の後9時45分第一レースBチーム予選開始、母校は大島商船に大差で圧勝、第二、第三レースの後第四レースAチーム予選では富山高専にタイムで一分以上の大差をつけて圧勝する。

11時45分Bチーム決勝開始、一年、二年生主体の鳥羽、広島、大島の各校が出漕、母校艇はスタートダッシュに成功し終始先行、往路(750m)の2艇身のリードを復路でさらに広げ約5艇身の差をつけて優勝。(09分19秒83)二位広島、三位大島。

12時15分、いよいよ各校主力メンバーを揃えたAチームの決勝開始。鳥羽、広島、大島の各校クルーは岸壁上で円陣を組み大声を出して気合いを入れる。母校クルーは「今年は絶対勝つぞ、絶対優勝するぞ」などの雄叫びをあげ、母校関係者から「がんばれよ」などの声援が送られるなか、勇躍スタート地点に向かう。小生もテンションが高まり(年甲斐もなく)「がんばれ」と大声で激励する。

大会当日は艇首方向からの北寄りの風がやや強く(3-4m/s)波もでてきて各艇スタートの位置取りと艇の姿勢保持に苦勞するなか母校艇はスタートダッシュに成功し向かい風をもとめせず力漕、終始リードを保ち回頭ブイ(750m地点)手前で約2艇身先行、ブイに寄せられる風と波のあるなか回頭も上手く行い復路

も力強く漕ぎきってさらにリードを広げ本部前のラストスパートで若いエネルギーを爆発させてぐいぐい加速して(観衆から早!と声のでるほど)約五艇身の差をつけて快勝。(9分13秒92)二位広島とのタイム差は約20秒、三位大島。「よくやった!」などの歓呼の声に迎えられ母校クルーが凱旋。力をだしきり見事優勝を勝ち得たクルーの達成感溢れる姿に半世紀余りの自分をだぶらせ感動的な一瞬を味わうことが出来た。

今回は優勝クルーの海中ドボンはなく少し寂しい気がしたが事故防止のためと言うようなことであった。

午後一時過ぎ閉会式、その後、大西、武部、川口、三井諸兄と鳥羽市内で昼食、母校チームのアベック優勝を祝して乾杯し、学生時代の話で盛り上がり楽しい時を過ごした後散会。最も豪快な海のスポーツと言われるカッターレースを充分に楽しみ、大きな力と感動をもらって充実した気分で帰路(神戸へ)についた。次回、五年後は81才。また来れるだろうか?来たいものだ。(追記)カッターはシーマンシップ体得の原点と理解しているが、別名奴隷船とも言われるようにただひたすら漕ぐ(勿論漕法などの技術的なものもあるが)ハードなスポーツで、また、協調性(チームワーク)も要求されるため、いま時の若者には余り好まれないものと思われる。しかしその若者が苦しい練習に耐え、たゆまぬ練習の結果今回の栄冠を勝ち得たことは一同窓生として嬉しい限りである。(クルーに工業系の学生が入っていることは二重の喜び)そしてクルー達を愛情をもって厳しく鍛えあげ、優勝と言う大きな目標に導き、達成したことはカッター部顧問の山野先生ほか顧問先生方のご指導、ご尽力の賜物であり、ここに深甚なる敬意と謝意を表するものである。

併せて本大会の運営に当たられた林校長他教職員の方々に感謝致します。(岩崎記)

学生からの投稿

菅沼会長の「同窓会と現役の学生との関わりを増やし、同窓会が学生にとっても身近な会である」と感じ、知って頂くという方針から、今回特別に学生会会長の渡邊君と寮生会会長の福田君に会報掲載の記事をお願いしました。(事務局西山)

学生会について 制御情報工学科5年 渡邊 一喜

学生会は現在、男子30人、女子9人、合計39人で活動しています。活動内容として、海学祭の運営、体育祭の運営、地域のボランティア活動、部活動費の決定、学生会会則の改正など様々な活動をしています。

海学祭の運営は、学生会組織内の海学祭実行委員会より行われます。海学祭の運営に関して大まかに説明しますと、イベントを運営する班、模擬店を統括する班などがあります。海学祭で運営や統括に班が必要不可欠であれば、班を

設置しています。昨年度、10月30日の一般公開をもって第51回目となる海学祭を開催することが出来ました。昨年度のテーマは「なあ、海学祭行こに。」で、昨年のサミットで注目された三重の三重弁を用いることで、地元の人だけでなく、県外の人にも興味を持っていただきたいという思いがありました。結果、たくさんの人に来場していただき、学生も含めて楽しんでいただけたと思います。実際、Twitterには#海学祭で投稿された感想や写真がたくさん投稿されています。開催に至るまで、教職員の皆様、ご協賛企業様にご協力いただき、無事終えることができましたことを学生会一同感謝しております。

体育祭の運営は、学生会組織内の体育祭実行委員会より行われます。体育祭の運営に関して大まかに説明しますと、得点を集計する人や競技を監督する人が連絡を取り合って運営します。昨年度までは10月中旬に行っていた体育祭ですが、今年は6月7日に行いました。理由として、商船学科4年は後期に入ると半年間の航海訓練がある為、体育祭に参加することが出来ないこと等が挙げられます。ただ、6月は梅雨ということもあり、今年の体育祭は雨でした。こういった問題点等を考慮して、来年に活かしていきたいと考えております。

地域のボランティア活動は、不定期ですが学生会役員より数名が進んで参加しています。今年の7月9日、鳥羽市民文化会館にて行われたかたらずか劇団公演「攻玉伝!」に演者として6名参加しました。参加者に感想を聞いてみると、沢山の人が関わっていくことで、とてもいい経験になったと話してくれました。

部活動費の決定、学生会会則の改正は、学生会役員が行っている活動です。部活動費の決定は、毎年、部員数や表彰された数などを基に部活動費予算を立て、各部活主将が集まる部会を通じて審議・決定します。学生会会則の改正とは、以前の学生会と現状の学生会で辻褄が合わなくなった学生会会則を、現状の学生会で運用できるように改正することです。改正の審議は、学生会役員、室長や寮長が参加する評議会、在校生全員が参加する総会を通じて行われます。

まだまだ学生会には面白い点があります。それは大変な事でもあったり、楽しい事でもあったりします。それらの経験は積むほど自分の力になっていくと私は考えております。1年生から5年生までいる集団というのは高専ならではの点だと思います。加えて、生徒会と違い比較的自由度が高い点から、新規性のあるクリエイティブな発想ができる環境があると思います。今後もより良い学校生活とは何かと考え、学祭等の行事の企画や運営を行っていきます。



暁寮について 商船学科機関コース 5年 福田直倫

私が船に興味を持ったのは小学1年生の時です。九州への家族旅行の際、フェリーに乗船しました。その時の船の大きさ、機関音、波の大きさなど、感じるもの全てのスケールの大きさに驚き、幼いながらも船というものに憧れを感じました。

中学生の時、進路を決める際、この時の船への憧れを思い出し、船乗りを目指すため鳥羽商船高等専門学校への入学を決めました。

私は、平成25年4月に本校の商船学科に入学し、私の学校生活と寮生活が始まりました。学校生活や寮生活は、楽しいことも多い反面、中学校までの生活と大きく違うこともあり、戸惑うことも多かったことを覚えています。

入寮初日の夜に1年生が寮の廊下で、寮生活を送る上で大切にしなければならないこと、また挨拶の仕方などについて、指導寮生(世話係学生)の4、5年生から指導を受け、厳しい所に来てしまったと感じました。

また、その後の寮生活の中で、長い伝統に基づく寮独特のルールも残っていることも知りました。例えば、1年生は風呂の椅子を使えないことや、上級生に大きな声で挨拶しなければならないなどといったことです。また、校歌や「船乗りのモットー」など大声を出すことについても指導を受けました。

2年、3年と進級していくにつれ、下級生ができて、下級生の世話の仕方や接し方も学びました。さらに、同級生間での結束や、自分にとって苦手と感じてしまう学生との良好な付き合い方など多くのことを学びました。一般の学校とは違う寮生活独特の上下関係は、入学当初は厳しいと感じましたが、その中で生活することで人間的に大きく成長できたと今では感じています。

私は3年生の時に世話係学生に任命され、4年生では副寮長、5年生では寮長として寮の運営に携わってきました。寮の運営に携わる中で私は、数々の伝統的なルールや風習などを今の時代に即したものになるように、修正してきました。そして、現在もその作業を続けています。1年生は風呂の椅子を使えるようにしましたし、挨拶も強制的なものではなく、自主性を重んじたものへと変更しました。

今、暁寮は大きく変わろうとしています。今の時代、伝統や雰囲気などではルールは成り立ちません。このような変化を見て、今の寮は、かつての寮と比べてゆるくなっているのではないかと感じるOBの方もいらっしゃるかもしれません。しかし、社会環境の変化に応じて寮生活も変化を求められていると思います。現在、1年生をはじめ、全寮生が、今の社会状況に合わせた規律の中で、集団生活を送っています。ぜひ、OBの皆様方には温かい目で見守っていただきますようお願いいたします。最後に寮長として今後の寮についてOBの皆様方をお願いいたします。下級生と上級生は同じ寮に住んでいても互いに顔も名前も知らないという状況になりつつあります。私たちも新しい方針を考えておりますが、OBの方からも何か良い案があれば拝聴したく存じます。今後もより良い寮を目指し邁進しますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

事務局だより

年々毎日が早く過ぎ去るようになりました。8月から会報を編集する準備に取り掛かるのですが今年もなんだかんだで、予定通りには進まず自身の集中力の低下を感じる次第です。

- ☆ 同窓会事務局ではでは会員名簿、同窓会報、同窓会HPを通じて、本校の状況、会員の社会活躍状況や、会員の近況、活動等を皆さんにお知らせしています。この会報が、皆さんの学校時代へ想いを馳せる事や、同窓同期の親睦などに少しでも役立てれば良いなと思っております。

昨年の秋からの同窓会活動では、本校が主管校としての「全国高専第27回プログラミングコンテスト」が開催され50万円の支援金を提供した他、本校の紹介活動として「近藤真琴物語」小冊子の発行や、鳥羽市民劇団による、母校の創始者近藤真琴翁の生涯を題材にした「攻玉伝」の公演に協力支援を行ったことが特徴的な1年であったと思います。このような活動ができるのは同窓会員諸氏のご理解と協力並びにご支援があるからこそと、思っています。このような活動の積み重ねが、ひいては母校の永続的発展に繋がる事と感じています。

事務局からのお願いとお知らせ

例年同じようなことをお願いすることになりますが、

- ① 会員の皆さん、転居、勤務先など変更ある場合は事務局までご連絡して下さい。同窓会会報等を発送しても宛先不明で会報等が返送されて来ることが多くなっています。今後は宛先不明者への会報等の発送は無駄と成る為に行いませんのでご理解ください。また同窓の友人の間でこの会報が届いていない方が有ればご本人から事務局に連絡されるようにお勧めください。個人情報保護にかかる事で有ります、名簿等への情報掲載の可否も合わせて連絡をして頂きますようお願いいたします。
- ② 同窓会の活動は多くの同窓生の会費により設立90年を経過してなお健全に運営されています。本校の卒業生は他校に比べ少ないですが、このように同窓会活動が継続して行えるのは多くの同窓生が母校を大切に想っている証であると私は信じています。しかしながら年々会費収入は減少傾向になっていることは気がかりに思うことです。特に若い世代の納入率は低くこのままでは、20年先の同窓会の存続が危ぶまれてなりません。私的な意見となりますが敢えて「後輩達よ、君たちはこれでよいのか!」と言いたいです。諸君に期待します。
- ③ 同窓会HPの閲覧や投稿をお願いします。
これも60歳より若い後輩たちの投稿、活躍を期待しています。
- ④ 同窓会HPへのスポンサー広告の掲載をお願いします。
会員皆さんの会社をHPでスポンサー広告としてPRしませんか。広告料は年間3万円からです。
年度途中からの掲載は月割りとなります。是非とも掲載をお願いします。
- ⑤ 30年度は会員名簿を更新発行します。
 - ・ 会員の皆様、名簿掲載の住所等の情報の確認、更新となります、住所等の変更がある場合は連絡をお願いします。
 - ・ 名簿は現状3000円の頒布価格でありましたが、次回からは3,300円の頒布価格に変更する予定です。
 - ・ 名簿への広告掲載を年度内から募集しますのでご協力をお願いいたします。
- ⑥ 近藤真琴の生涯を演じた「攻玉伝」DVDを2,000円で販売します。
購入希望の方は、同窓会事務局に会費払込取扱票、FAX又はE-mailで申し込みしてください。

FAX.0599-25-8128 E-mail info@tobashousen-dousoukai.com

- ⑦ 小冊子「近藤真琴物語」をホームページに紹介します。ご興味のある方はごらんください。
また29年度中に同窓会への寄付を1万円以上していただいた場合謝礼として差し上げさせていただきます。
- ⑧ 同窓会事務局のボランティア募集
同窓会事務局は、現在も少人数の有志でこの会の運営を行っています。本校近隣に在住の同窓会員の皆様、事務局の運営にご協力をお願いします。同窓会の継続的な運営の為には、事務局の老齢化の対策も考慮しなければなりません。期間限定でも良いですので行動力のある方は是非とも事務局に連絡をお願いします。

- ☆ NPO法人故郷の海を愛する会の活動など子供たち参加のイベントもあり、楽しいですよ。
こちらでも会員の募集をしています。

事務局 江崎隆夫(S44E)、西山明(S50E)

会員の移動等

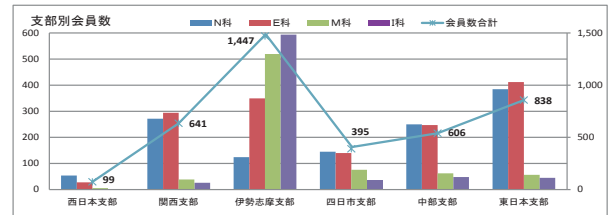
(平成29年8月現在)

| | 卒業生 | 現会員 | (現会員数内訳) | | 死亡 | 小計 |
|----|-------|-------|----------|------|-------|-------|
| | | | 支部所属 | 支部不明 | | |
| N科 | 2,584 | 1,430 | 1,258 | 172 | 1,154 | 2,584 |
| E科 | 2,755 | 1,700 | 1,472 | 228 | 1,055 | 2,755 |
| M科 | 901 | 897 | 761 | 136 | 4 | 901 |
| I科 | 890 | 890 | 750 | 140 | 0 | 890 |
| 合計 | 7,130 | 4,917 | 4,241 | 676 | 2,213 | 7,130 |

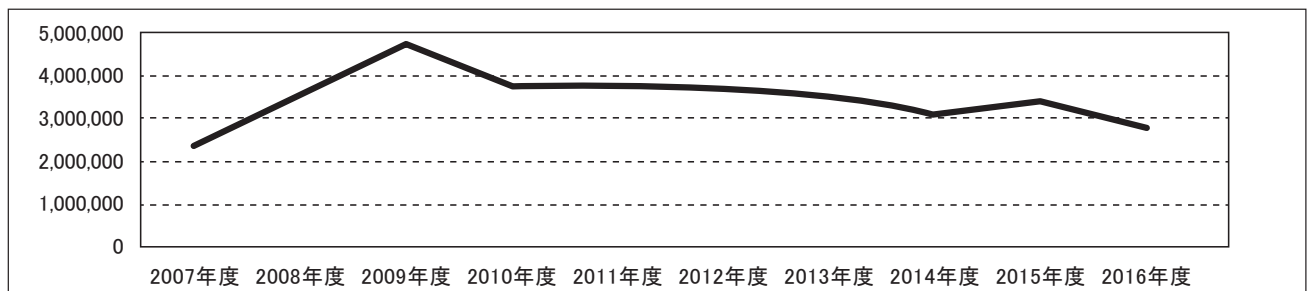
*特別会員は現会員数に含まれる。

鳥羽商船同窓会 会員数・支部会員数 (平成29年8月現在)

| | 西日本支部 | 関西支部 | 伊勢志摩支部 | 四日市支部 | 中部支部 | 東日本支部 | 合計 |
|-------|-------|------|--------|-------|------|-------|-------|
| N科 | 64 | 287 | 119 | 145 | 251 | 392 | 1,258 |
| E科 | 30 | 292 | 353 | 135 | 247 | 415 | 1,472 |
| M科 | 4 | 37 | 525 | 74 | 68 | 53 | 761 |
| I科 | 1 | 25 | 599 | 41 | 40 | 44 | 750 |
| 会員数合計 | 99 | 641 | 1,447 | 395 | 606 | 904 | 4,241 |



会費収入推移





名古屋港 新日鐵住金名古屋製鐵所

旧校歌
 渺茫遠くきわみなき
 太平洋の荒雄波
 渚を洗う鳥羽港に
 校旗ぞ高くひるがえる
 思えば明治十四年
 近藤翁が憂国の
 真心こめてすえにけむ
 石礎え高し万代に
 学びの窓の朝夕に
 心の舵をしかと取り
 知識の真珠かきつみて
 いざ諸共に船出せん

ホームページ
 スポンサー
 募集中!!

バナー広告ご協賛企業

ホームページ・名簿のスポンサーを募集しています。
 詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

| | | |
|--|--------------------------------|---|
| 業務用加湿器のトップメーカー Wetmaster | (株)鳥羽ヤンマー S44/E 江崎 | 医療法人友仁会 友仁山崎病院 理事長 矩照幸 S52E 人間ドックで早期発見 |
| 水中高分解処理装置 自動化計装システムエンジニアリング E・T エステック株式会社 | iiiムロオ | 海上 散骨 ノジ マリン S54E |
| 海老フライ うなぎ 鳥羽 大阪屋 | 鳥羽ビューホテル 花真珠 女将 迫間まち(旧姓:山門) | 本格コーヒーの香りを あなたのオフィスに 1杯あたり 35円 090-3258-7902(村田) デロンギ(イタリア製) 無償貸与供与 |

学生募集
 の
 PR依頼

少子化の時代を迎え、義務教育以外の学校は皆、学生の確保に躍起になっています。特に大学は学生の全入学時代に突入し、一段と厳しさを増しています。将来に向け予断は許されず、学校としても学生募集のPRに励んでいます。つきましては、より優秀な学生に入学していただくため同総会員の御協力を仰ぎたい所存です。学校に御連絡いただければ、A2版ポスター・学校案内冊子・学生募集要項をお送りしますので、下記宛に御連絡いただけますよう、よろしくお願ひします。

独立行政法人 国立高等専門学校機構 **鳥羽商船高等専門学校**

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1 電話(0599)25-8404
 ホームページアドレス <http://www.toba-cmt.ac.jp/> E-mai gakusei-nyushi@toba-cmt.ac.jp

◎書類請求(無料)は本校の学生課入試・支援係へ